

令和元年度 第1回 新潟市歴史博物館運営協議会

日時:令和元年7月26日(金)午後2時30分から
会場:博物館本館2Fセミナー室

次 第

- 1 開会
- 2 館長あいさつ
- 3 議事
 - (1)平成30年度の館運営報告
 - 1) 博物館
 - 2) 旧小澤家住宅
 - (2)今年度の館運営状況
 - 1) 博物館
 - 2) 旧小澤家住宅
 - (3)その他
 - 1) 文化庁補助事業「新潟開港150年新潟古町の記憶と魅力発信事業」
- 4 閉会

新潟市歴史博物館運営協議会
(R1～R2年度) 委員名簿

(令和元年7月4日現在)

	氏名	所属・推薦団体等
1	池田 哲夫	新潟大学人文学部名誉教授
2	太田 公仁	新潟市立潟東中学校長
3	久保 有朋	新潟大学大学院 自然科学研究科
4	佐藤 忠浩	新潟日報社 読者局 事業担当部長
5	渋川 綾子	にいがた湊あねさま倶楽部
6	津野 治彦	新潟市立亀田小学校長
7	橋本 博文	新潟大学人文社会科学系フェロー
8	羽生 頼子	公募委員
9	広川 公之	BSN新潟放送 事業局 事業部 部長代理
10	本井 晴信	元新潟県立文書館副館長
11	山田 周	日本旅行業協会 関東支部 新潟県地区委員会 委員長
12	和氣 彰	新潟市小中学校PTA連合会 副会長

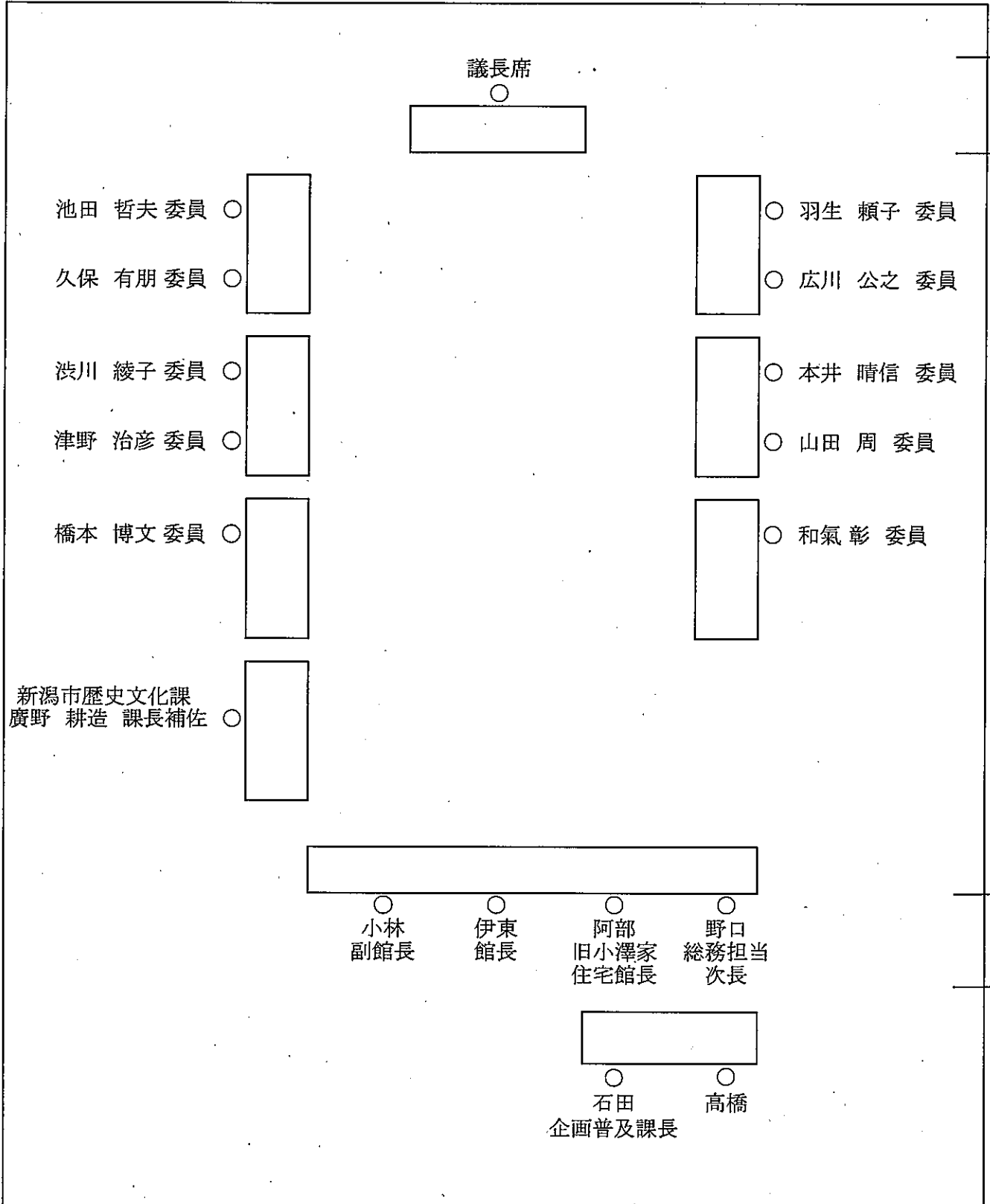
(50音順)

オブザーバー	廣野 耕造	歴史文化課長 課長補佐
--------	-------	-------------

令和元年度 第1回 新潟市歴史博物館運営協議会 席次

日時: 令和元年7月26日(金) 午後2時30分～

会場: 新潟市歴史博物館本館セミナー室



新潟市歴史博物館運営協議会設置要綱

(設置)

第1条 館長は、新潟市歴史博物館（以下「博物館」という。）の運営について意見を聴くため、新潟市歴史博物館運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(委員)

第2条 協議会の委員は次に挙げるもので構成する。

- (1) 学校教育関係者
- (2) 社会教育関係者
- (3) 学識経験者
- (4) 公募により選抜された者
- (5) その他館長が必要と認めた者

(定数)

第3条 定員は15名以内とする。

(任期)

第4条 協議会の委員の任期は2年とし、平成31年4月1日から平成33年3月31日までとする。ただし、任期中に委員が交替する場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。なお、委員は再選されることは妨げない。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長各1名を置き、委員の互選によってこれを定める。

- 2 会長は会務を総理する。
- 3 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。

(会議)

第6条 協議会の会議は会長が招集し、その議長となる。

- 2 協議会の会議は、定数の半数以上が出席しなければ、これを開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長が決するところによる。
- 4 会長は、必要のあるとき、委員以外のものを会議に参加させることができる。ただし、その者は、採決に参加できない。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、新潟市歴史博物館企画普及課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱で定めるもののほか、会の運営に関して必要な事項は、会長が別に定めるものとする。

附則

この要綱は平成16年1月1日から施行する。

この要綱は平成17年7月27日から施行する。

この要綱は平成18年4月1日から施行する。

この要綱は平成20年4月1日から施行する。

この要綱は平成22年4月1日から施行する。

この要綱は平成23年4月1日から施行する。

この要綱は平成25年4月1日から施行する。

この要綱は平成27年4月1日から施行する。

この要綱は平成29年4月1日から施行する。

この要項は平成31年4月1日から施行する。

平成30年度事業報告（歴史博物館）

- 新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等 236,732,561円
- 1 文化事業 34,469,994円
- 「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため、以下の各種事業を行った。
- (1) 展示運営更新 298,944円
- 人と水の関りをテーマに新潟市の歴史を紹介。学芸員やボランティアによる展示解説を行った。また、川村修就コーナーの展示ケースを6月と1月の2回、展示替えした。
- (2) 企画展示事業 4,077,630円
- 新潟開港150周年記念の特別展を含む計4本の企画展を指定管理事業で実施した。
- ① 「キラリ★新潟<美>の刀剣」展 (1,887,411)
- 日本美術刀剣保存協会新潟支部会員が所蔵する刀剣を中心に、無銘左貞吉などの古刀をはじめ、新刀および新々刀、現代刀の打刀、太刀、脇差、短刀、薙刀、槍などの刀身および刀装具を紹介した。
- 会期中には、「耳から学ぶ刀剣」をテーマとした公開講座で、酒井忠久氏（致道博物館館長）から「世界に誇る日本刀文化」、近藤昌敏氏（日本美術刀剣保存協会新潟支部長）から「日本刀の魅力とその楽しみ方」と題してお話しいただいた。
- 開催期間 平成30年4月14日～6月3日 44日間
観覧者数 7,621人（うち有料観覧者 5,703人、無料観覧者 1,918人）
- ② 「玉と鏡の世界－西安・新潟友好交流特別」展 (24,550,108)
- 中国西安博物院との友好提携10周年と新潟開港150周年を記念し、西安博物院が所蔵する戦国・秦・漢・唐の各時代の玉と鏡を展示した。
- 会期中は、王鋒鈞氏（西安博物院副院長）の「玉と鏡－霊通之物」と岡村秀典氏（京都大学教授）の「古代の鏡を読む」の2本の特別講演をはじめ、「古代鏡づくり」、「勾玉づくり」、「古代鏡のチョコづくり」などの体験イベントや夜間開館した「お月見ナイトミュージアム」を実施した。
- 開催期間 平成30年9月15日～10月28日 41日間
観覧者数 4,512人（うち有料観覧者 2,394人、無料観覧者 2,118人）
- ③ 第15回むかしのくらし展「容れ物」 (1,233,115)
- 衣食住の日常生活や仕事、さまざまな行事などで使われた容れ物を中心に、むかしの道具の移り変わりを紹介した。
- 会期中は、実際に道具に触れながら学芸員の解説を聞く体験イベント「展示品をさわって・

【資料1】

聞いてみよう」や、「お弁当の歴史」と題したミニ講座を担当学芸員が講師になって実施した。

開催期間 平成30年11月10日～平成31年1月27日 62日間

観覧者数 7,041人（無料観覧者）

④ 「収蔵品展・新収蔵品展」 (124,002)

今年度は新規受け入れの資料を区別せず、新旧の収蔵品を織り交ぜながら約100点の館収蔵資料を公開した。

開催期間 平成31年2月9日～3月17日 32日間

観覧者数 6,176人（無料観覧者）

(3) 教育普及事業 236,759円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味ニーズに対応するため、ボランティアなどの人的資源や博物館が有するモノや情報を活用して、歴史に関するさまざまなサービスの提供や活動の提案を行った。そのほか、レファレンス用の開架図書を購入した。

① 体験の広場事業

体験の広場の施設や資料を活用し、学芸員とボランティアスタッフ・外部協力者により、小学生や家族連れ・大人等を対象に各種の体験プログラムを計86回実施した。

② 博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等を行うほか、職場体験の中学生を受け入れるとともに、地域学習として市内の小学校へ出向いて授業を行った。また、新潟大学と連携して当館学芸員による寄附講義を開講するとともに、大学生を受入れ、通年および期間集中の館博物館実習を実施した。さらに、同志社大学留学中のドイツチュービンゲン大学の学生2名をインターンとして受入れた。

③ 講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案することを目的として、幅広いニーズに対応するための以下の各種講座を開催した。

・博物館講座 全10回、古文書入門講座 全4回、館長講座 全4回など

④ ボランティア事業

敷地ガイドや常設ガイド、体験の広場のプログラムの実施・補助として活動するボランティアを養成するとともに、その活動を支援した。さらに、1月12日の旧税関庁舎再公開にあたっては、ボランティア主体の塔屋見学や各種イベントを実施した。その他ボランティアによる自主事業を多数開催した。

(4) 施設普及事業 1,822,343円

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」(3回)、年報などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図った。

① 地域連携事業の実施

博物館近隣の市民団体や国・県などと共催で、新潟の港や下町のPRを目的に以下の事業を企画・開催した。

【資料1】

堀とさくらのコンサート(4/15 雨天中止)、夕涼みコンサート(8/18)、みなと・しもまち・川まつり(8/26 雨天中止)

② みなとびあファンクラブ

博物館の情報を定期的に会員に向けて提供した。また、会員向けの企画展鑑賞会・まちあるき「開港150年埠頭巡り」(10/26)・館長バスツアー「阿賀野市史跡の旅～北蒲原郡の大地主と在郷町～」(6/3)・館長講演会・学芸員による講座を実施した。

(5) 調査研究事業 505,438 円

主に企画展示や収蔵品展に関連した調査・研究を実施した。

そのほか、学芸員の専門分野における研究や館活動を通じた資料調査も随時行い、その成果は博物館講座を通じて市民に報告・還元するとともに、主なものを『研究紀要15号』にまとめた。

(6) 資料整理事業 1,181,341 円

寄贈を受けたり、購入したりした歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行った。

① 保存環境管理

館蔵資料の長期保存のため、展示室やケースなどの展示施設をはじめ、収蔵施設である本館収蔵庫・旧木場小学校、板井保育園等について、各種の保存環境調査や清掃、防虫対策のためのくん蒸など、IPMに則った各種の保存環境管理を行った。

② 資料収集整理

地域の歴史を語る資料を収集するとともに、資料を管理し活用するために、資料の基礎的データや資料の詳細情報を調査・記録した。

(7) 開港150周年に向けた歴史文化魅力発信事業 26,347,539 円

① 「新潟開港150年史」刊行

新潟開港150周年の記念誌を編集・刊行した。

② 「玉と鏡の世界－西安・新潟友好交流特別展」開催

先述の特別展を本事業の一環で開催した。

2 文化施設管理受託事業 200,362,636 円

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等の管理運営を行った。なお、耐震補強等改修工事のため平成28年6月から休館していた旧新潟税関庁舎は11月末で工事が完了し、平成31年1月12日から再開した。

(1) 歴史博物館管理事業

① 博物館本館(常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー

【資料1】

- 室、情報ライブラリー等)
- ② 旧第四銀行住吉町支店（応接室、会議室、日本間）
- ③ 屋外施設（広場、堀、園路等）
- (2) 旧新潟税関庁舎等管理事業
 - ① 旧新潟税関庁舎
 - ② 史跡（石段、石積み、石庫等）
- (3) 信濃川左岸緑地管理事業

3 歴史発見プロジェクト(自主事業) 853, 029 円

新潟の歴史に親しみ、自らが歴史を発見する喜びを知ってもらうため、歴史を題材とした以下の自主事業を行った。

① 企画展

ア「にいがた船と港の150年」展

開港後150年のみなとの歴史を紡いできたさまざまな入港船舶を紹介するとともに、航路や港湾施設の移り変わりを紹介した。

開催期間 平成30年7月14日～8月19日 33日間

観覧者数 4,822人（無料観覧者）

イ「旧新潟税関庁舎と史跡」展

耐震改修工事を経てリニューアルした旧税関庁舎を会場に、建物に施された工事内容や重要文化財・史跡としての価値、また、旧新潟税関の特色などを紹介した。

開催期間 平成31年1月12日～3月17日 50日間

観覧者数 5,086人（無料観覧者）

② 史楽講座

「伝承の現場から」をテーマに、生活技術や芸能文化の継承者を招いて全4回の講座を行った。

③ 中級古文書演習

実際の古文書を読むため、全20回の実践向け演習を行った。

④ こども歴史クラブ

小学生を対象にクラブ員を募り（会員29名）、古代から近現代までの人々の暮らしに関わる体験プログラムを計11回実施した。

4 付帯事業 1, 046, 902 円

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営

【資料1】

や自動販売機の設置を行った。また、平成30年度は「図説 新潟開港150年史」を新潟市が刊行したため、当館のショップでも委託販売商品として取り扱い、新潟市の売上に協力した。

- ① 物販等ショップの運営
- ② 自動販売機の設置

※ 平成30年度歴史博物館入館者数 112,079人（「旧新潟税関庁舎と史跡」展 5,086人を含む）

【資料2】

収支決算書(博物館 指定管理事業)

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

平成30年度収支決算書

(単位 円)

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
収入の部				
① 事業収益	257,955,000	234,778,752	23,176,248	
文化事業収益	275,000	481,718	△ 206,718	講座資料代、体験プログラム参加費等
事業受託収益	55,211,000	33,988,276	21,222,724	新潟市指定管理料(歴史文化事業費分)
施設管理受託収益	202,469,000	200,308,758	2,160,242	新潟市指定管理料(施設管理受託事業分)
② 受取補助金等	0	0	0	
国庫助成金収益	0	0	0	
民間助成金収益	0	0	0	
③ 雑収益	0	53,878	△ 53,878	
雑収益	0	53,878	△ 53,878	
収入計	257,955,000	234,832,630	23,122,370	
支出の部				
① 文化事業費	55,486,000	34,469,994	21,016,006	歴史文化事業費
賃金	1,953,000	1,143,174	809,826	・展示更新事業 298,944
福利厚生費	113,000	3,612	109,388	・企画展示事業 4,077,630
旅費交通費	6,200,000	3,445,610	2,754,390	・教育普及事業 236,759
通信運搬費	1,151,000	841,257	309,743	・施設普及事業 1,822,343
消耗什器備品費	308,000	68,450	239,550	・調査研究事業 505,438
消耗品費	1,201,000	859,791	341,209	・資料整理保存 1,181,341
修繕費	403,000	21,600	381,400	・開港150年歴史文化魅力発信事業
印刷製本費	7,216,000	4,686,530	2,529,470	26,347,539
使用料及び賃借料	223,000	162,655	60,345	
保険料	10,535,000	4,064,300	6,470,700	
諸謝金	958,000	97,300	860,700	
租税公課	30,000	23,000	7,000	
委託費	17,750,000	14,071,630	3,678,370	
役務費	100,000	70,740	29,260	
広告宣伝費	6,424,000	4,368,437	2,055,563	
食糧費	711,000	541,482	169,518	
手数料	10,000	426	9,574	
備品購入費	200,000	0	200,000	
② 文化施設管理受託事業費	202,469,000	200,362,636	2,106,364	歴史博物館等管理費
報酬	4,200,000	3,955,000	245,000	・人件費 67,593,327
給料手当	47,023,000	46,751,598	271,402	・物件費 132,769,309
賃金	6,629,000	6,415,997	213,003	
福利厚生費	8,793,000	8,264,547	528,453	
退職給付費用	3,047,000	2,206,185	840,815	
旅費交通費	44,000	43,696	304	
通信運搬費	1,192,000	1,191,784	216	
消耗什器備品費	884,000	883,185	815	
消耗品費	1,996,000	1,995,803	197	
修繕費	1,079,000	1,078,583	417	
印刷製本費	298,000	297,270	730	
燃料費	99,000	98,772	228	
光熱水費	31,905,000	31,904,020	980	
使用料及び賃借料	3,985,000	3,984,096	904	
保険料	57,000	56,030	970	
諸謝金	140,000	140,000	0	
租税公課	5,902,000	5,902,000	0	
支払負担金	55,000	55,000	0	
委託費	82,827,000	82,826,362	638	
食糧費	19,000	18,756	244	
工事請負費	2,243,000	2,242,080	920	
手数料	52,000	51,872	128	
支出計	257,955,000	234,832,630	23,122,370	
当期収支差額	0	0	0	

収支決算書(博物館 歴史発見プロジェクト)

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

平成30年度収支決算書

(単位 円)

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
収入の部				
① 事業収益	585,000	1,674,484	△ 1,089,484	
文化事業収益	585,000	1,674,484	△ 1,089,484	講座資料代、体験プログラム参加費等
② 受取補助金等	0	0	0	
民間助成金収益	0	0	0	
③ 受取寄付金	400,000	640,000	△ 240,000	
寄付金収入	400,000	640,000	△ 240,000	
④ 雑収益	0	35,250	△ 35,250	
雑収益	0	35,250	△ 35,250	
⑤ 特定費用準備資金	1,782,000	0	1,782,000	
前年度特定費用準備資金	1,782,000	0	1,782,000	
収入計	2,767,000	2,349,734	417,266	
支出の部				
① 文化事業費	1,536,000	853,029	682,971	歴史文化事業費
賃金	235,000	222,704	12,296	企画展示事業 703,908
福利厚生費	1,000	563	437	教育普及事業 128,021
旅費交通費	20,000	6,580	13,420	施設普及事業 21,100
通信運搬費	165,000	64,820	100,180	
消耗品費	133,000	58,250	74,750	
印刷製本費	300,000	172,692	127,308	
使用料及び賃借料	1,000	900	100	
諸謝金	90,000	85,200	4,800	
租税公課	1,000	200	800	
委託費	350,000	131,760	218,240	
役務費	100,000	0	100,000	
広告宣伝費	110,000	105,040	4,960	
食糧費	30,000	4,320	25,680	
支出計	1,536,000	853,029	682,971	
特定費用準備資金	1,231,000	1,496,705	△ 265,705	
当期収支差額	0	0	0	

【資料2】

収支決算書(博物館 付帯事業)
平成30年4月1日から平成31年3月31日

平成30年度収支決算書

(単位 円)

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
収入の部				
① 販売収益	174,000	657,892	△ 483,892	
販売収益	174,000	657,892	△ 483,892	
② 雑収益	320,000	354,069	△ 34,069	
物品販売委託手数料	137,000	165,311	△ 28,311	
自動販売機手数料	120,000	97,103	22,897	
その他	63,000	91,655	△ 28,655	
当期収入計	494,000	1,011,961	△ 517,961	
前期繰越収支差額	1,534,000	1,493,463	40,537	
収入計	2,028,000	2,505,424	△ 477,424	
支出の部				
① 付帯事業費	1,096,000	1,046,902	49,098	
通信運搬費	40,000	30,200	9,800	
消耗品費	551,000	534,302	16,698	
光熱水費	52,000	43,967	8,033	
使用料及び賃借料	113,000	112,410	590	
租税公課	1,000	200	800	
支払負担金	40,000	32,393	7,607	
委託費	292,000	286,524	5,476	
手数料	7,000	6,906	94	
当期支出計	1,096,000	1,046,902	49,098	
当期収支差額	△ 602,000	△ 34,941	△ 567,059	
次期繰越収支差額	932,000	1,458,522	△ 526,522	

平成30年度 来館者数内訳（歴史博物館）

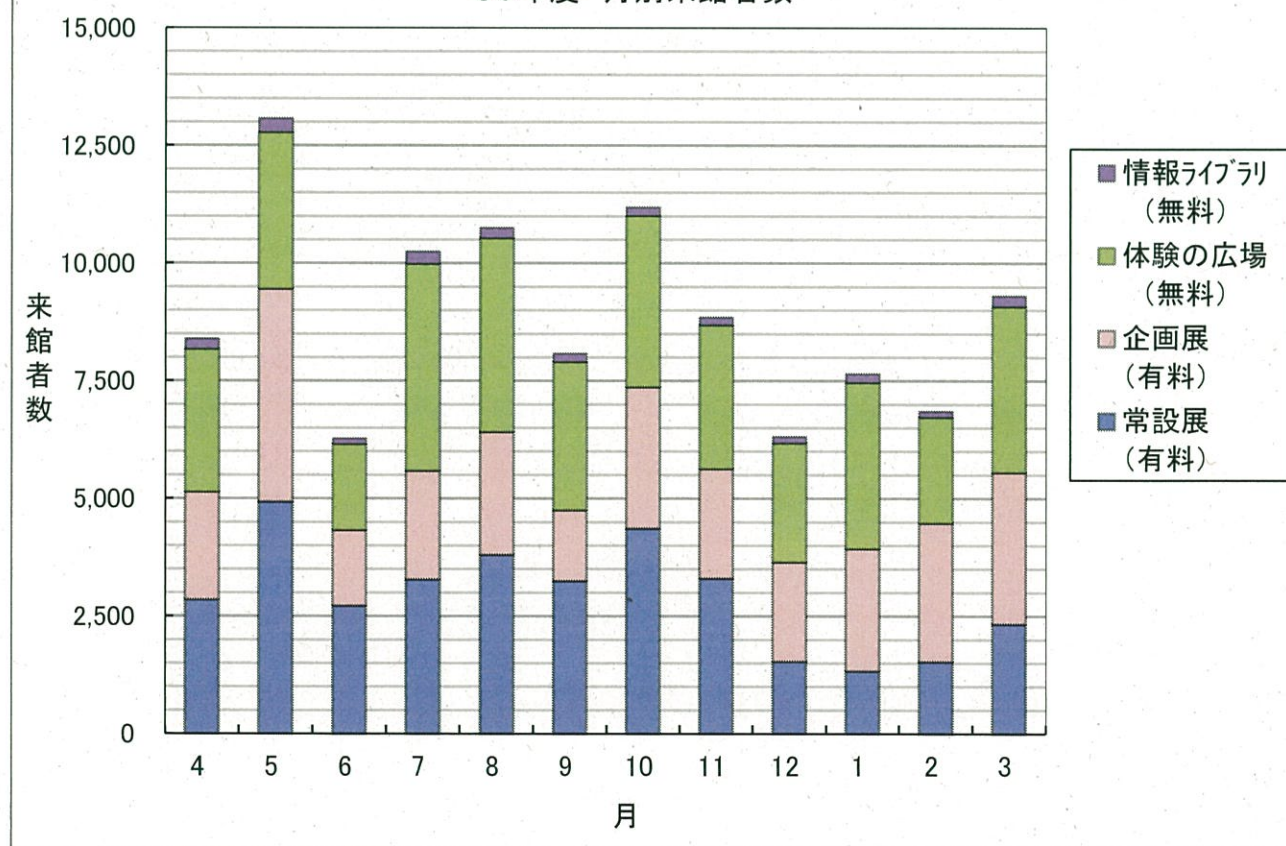
○月別来館者数

月	開館日数	常設展 (有料)	企画展 (有料)	体験の広場 (無料)	情報ライブラリ (無料)	H30月別 来館者数計	1日平均 来館者数
4	26	2,854	2,288	3,036	218	8,396	323
5	26	4,933	4,526	3,324	291	13,074	503
6	20	2,725	1,611	1,823	115	6,274	314
7	27	3,282	2,310	4,400	254	10,246	379
8	28	3,807	2,612	4,117	215	10,751	384
9	28	3,248	1,507	3,152	174	8,081	289
10	27	4,368	3,005	3,637	180	11,190	414
11	26	3,306	2,328	3,053	166	8,853	341
12	23	1,542	2,109	2,526	138	6,315	275
1	21	1,334	2,604	3,530	183	7,651	364
2	21	1,537	2,949	2,248	122	6,856	326
3	26	2,336	3,227	3,523	220	9,306	358
計	299	35,272	31,076	38,369	2,276	106,993	

*企画展の来館者には、貸館による「現代工芸展」904人を含む

*平成30年度来館者総計 112,079人（「旧新潟税関庁舎と史跡」展5,086人含んだ場合の総数）

30年度 月別来館者数



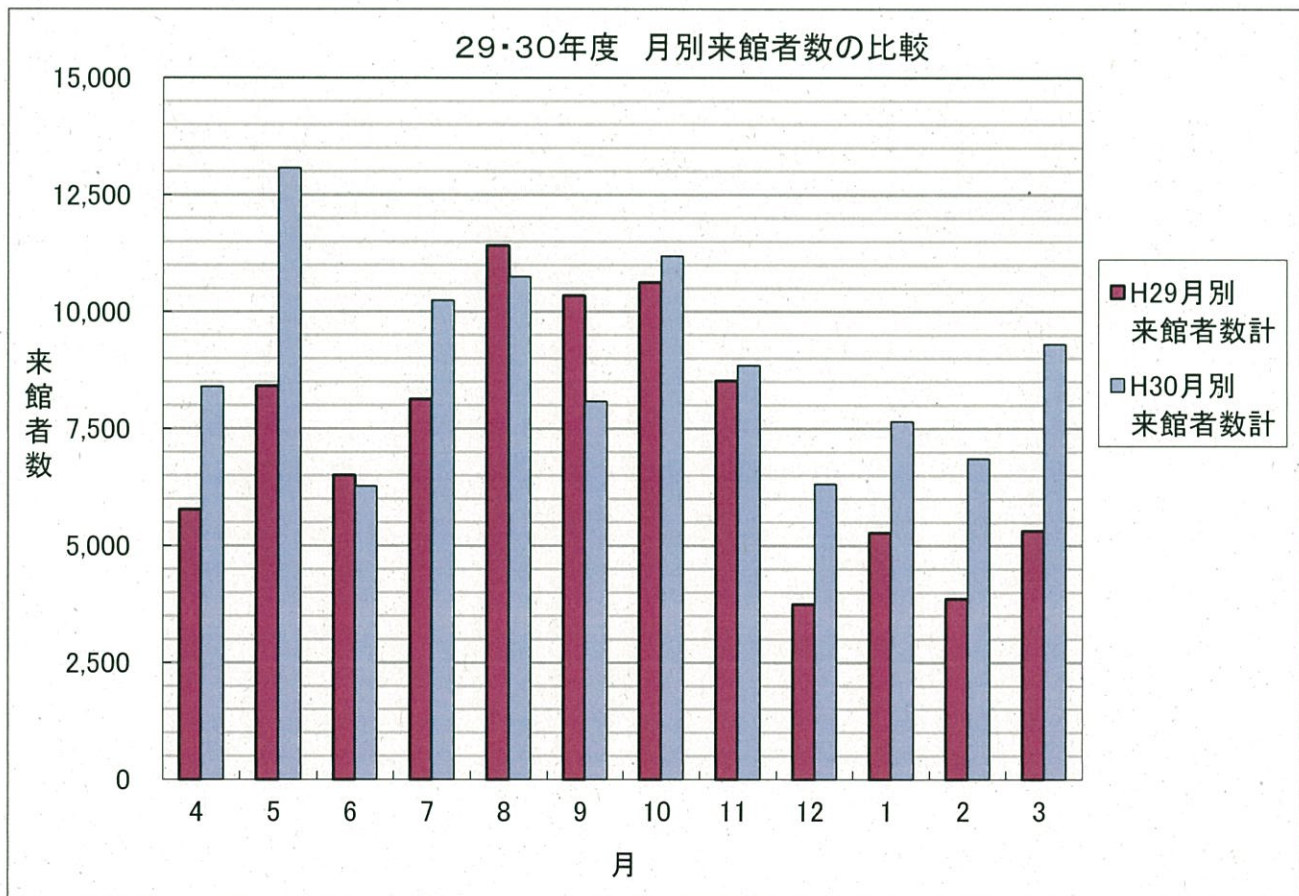
【資料3】

平成29年度 歴史博物館 来館者内訳

○月別来館者数

月	開館日数	常設展 (有料)	企画展 (有料)	体験の広場 (無料)	情報ライブラリ (無料)	H29月別 来館者数計	1日平均 来館者数
4	26	1,724	1,031	2,825	195	5,775	222
5	24	3,161	2,076	2,982	194	8,413	351
6	22	2,379	2,183	1,674	269	6,505	296
7	26	2,946	1,187	3,762	237	8,132	313
8	28	4,160	2,569	4,380	303	11,412	408
9	27	3,630	2,733	3,810	171	10,344	383
10	27	3,251	3,439	3,737	200	10,627	394
11	26	2,814	2,718	2,812	179	8,523	328
12	23	1,036	1,146	1,425	141	3,748	163
1	22	1,262	1,365	2,467	182	5,276	240
2	20	767	1,468	1,502	121	3,858	193
3	26	1,141	2,056	1,916	204	5,317	205
計	297	28,271	23,971	33,292	2,396	87,930	

*企画展の来館者には、貸館による「現代工芸展」837人を含む

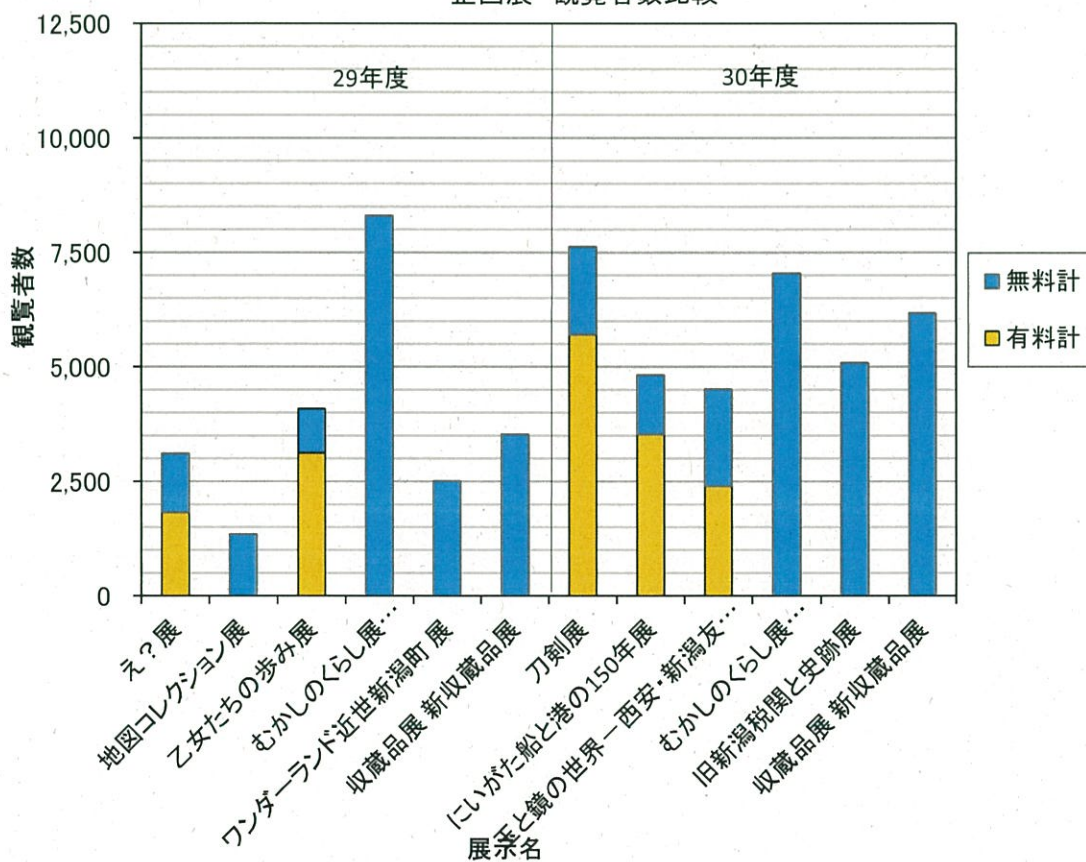


平成30年度 企画展 観覧者数 (歴史博物館)

* 参考 29年度

	企画展名	会期	開館日数	合計	有料計	個人	団体	無料計	うち授業	うち小中 土日無料
29 年度	え？展	4.8～5.28	44	3,107	1,824	1,192	632	1,283	335	152
	地図コレクション展	6.10～6.18	8	1,346	0	0	0	1,346	0	0
	乙女たちの歩み展	7.15～9.13	45	4,088	3,119	2,135	984	969	71	267
	むかしのくらし展 「旅はぼうけん」	9.16～11.26	64	8,304	0	0	0	8,304	2,381	0
	ワンダーランド近世新 潟町展	12.9～1.28	38	2,511	0	0	0	2,511	223	0
	収蔵品展 新収蔵品展	2.10～3.25	37	3,524	0	0	0	3,524	0	0
30 年度	刀剣展	4.14～6.3	44	7,621	5,703	4,180	1,523	1,918	274	385
	にいがた船と港の150年展	7.14～8.19	33	4,822	3,526	2,051	1,475	1,296	116	391
	玉と鏡の世界－西安・新 潟友好交流特別展	9.15～10.28	41	4,512	2,394	1,560	834	2,118	1,325	132
	むかしのくらし展 「容れ物」	11.10～1.27	62	7,041	0	0	0	7,041	1,519	0
	旧新潟税関と史跡展	1.12～3.17	50	5,086	0	0	0	5,086	0	0
	収蔵品展 新収蔵品展	2.9～3.17	32	6,176	0	0	0	6,176	0	0

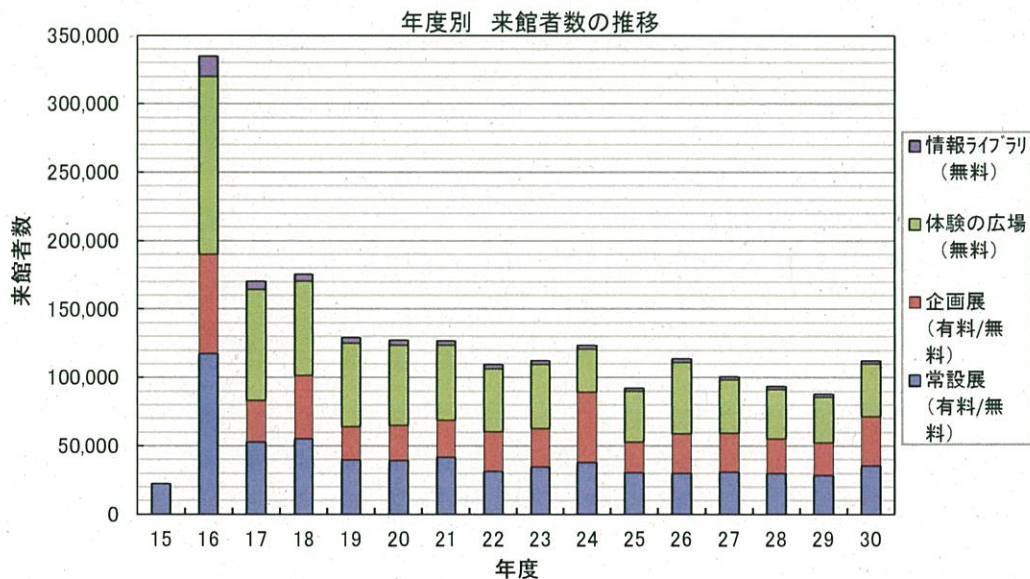
企画展 観覧者数比較



【資料3】

開館からの来館者数の推移（歴史博物館）

年度	来館者数	対前年比	常設展 (有料/無料)	企画展 (有料/無料)	体験の広場 (無料)	情報ライブラリ (無料)	備考
15	22,509		22,509				
16	334,579	312,070	117,383	72,469	129,928	14,799	○10.23中越地震発生
17	170,554	-164,025	52,897	30,284	81,048	6,325	
18	175,498	4,944	55,180	46,493	68,832	4,993	
19	128,916	-46,582	39,666	24,521	60,862	3,867	○7.16中越沖地震発生
20	127,124	-1,792	39,060	26,032	58,552	3,480	○21.1.4～11.22「天地人」放映
21	126,996	-128	41,453	27,325	54,887	3,331	○「水と土の芸術祭」の開催ほか
22	109,643	-17,353	31,415	29,102	45,818	3,308	○23.3.11東北地方太平洋沖地震発生
23	112,332	2,689	34,545	28,074	46,668	3,045	
24	123,322	10,990	37,679	51,506	31,696	2,441	◇貸館による「若沖・応挙展」の開催 ○「水と土の芸術祭」の開催
25	92,191	-31,131	30,529	22,175	37,089	2,398	◇「大新潟展」の開催
26	113,657	21,466	29,940	29,077	51,879	2,761	◇「新潟地震展」の開催 ◇合併100周年記念「沼垂」展の開催 ◇「光の饗宴」プロジェクションマッピングの開催
27	100,447	-13,210	30,974	28,538	38,576	2,359	◇「光の饗宴」プロジェクションマッピングの開催
28	93,652	-6,795	29,798	25,196	36,227	2,431	◇「G7新潟農業大臣会合」の開催 ◇「光の饗宴」プロジェクションマッピングの開催 ◇6月～耐震工事のため旧税関庁舎閉館(H30.12月頃まで)
29	87,930	-5,722	28,271	23,971	33,292	2,396	◇「光の饗宴」プロジェクションマッピングの開催 ◇6月～耐震工事のため旧税関庁舎閉館(H30.12月頃まで)
30	112,079	24,149	35,272	36,162	38,369	2,276	◇「光の饗宴」プロジェクションマッピングの開催 ◇6月～耐震工事のため旧税関庁舎閉館(H31.1.11まで) ◇H31.1.12～旧税関再公開 ◇企画展人数に「旧新潟税関庁舎と史跡」展(5,086人)を含む
累計	2,031,429		656,571	500,925	813,723	60,210	



※前頁 開館からの来館者数一覧表の「企画展」には次のものを含む

16年度	「にいがた 街の記憶」、「新潟の乗り物」、「長安文物秘宝展」、「ふゆのにいがた」、「鉄と日本刀展」収蔵品展 「新潟ののこぎり」
17年度	「川村修就とゆらぐ幕府支配」、「蒲原のあけぼの」、「新潟の鮭」、「あそび」、収蔵品展「新潟の絵図」、「新・収蔵品展」、貸館による「現代工芸展」、「萬代橋展」
18年度	「新 収蔵品展」、「よみがえる源氏物語絵巻展」、「新潟の舟運」、「手回し機械」、「新潟・文人去来」、「収蔵品・新収蔵品展」、貸館による「現代工芸展」
19年度	「新潟・文人去来」(4/1のみ)、「古写真の中の新にいがた」、「西暦647年にいがた」、「船と船大工」、「食の風景」、「収蔵品・新収蔵品展」、貸館による「現代工芸展」
20年度	「酒蔵」、「ムラの学校・マチの学校」、「絵図が語るみなど新潟」、「米とくらし」、特集展示「古文書が語る上杉氏と直江兼続」、「新収蔵品展」、貸館による「現代工芸展」、同「天地人パネル展」、同「安吾展」
21年度	「五姓田」、「蒲原平野の20世紀」、「ハルビン金代文化展」、「マチとムラの消防」、「新収蔵品展」、「収蔵品展」、貸館による「現代工芸展」
22年度	「三芳悌吉『砂丘物語』原画」、「海峡を越えて-佐渡と新潟-」、「お店やさん」、活動展示「ひきだす」、「新収蔵品展」、「収蔵品展」、貸館による「現代工芸展」
23年度	「新潟美人展」、「発掘された日本列島2011」、「今日は何を着よう?」、「活動展示2011」、「収蔵品展・新収蔵品展」、貸館による「現代工芸展」
24年度	「にいがたの近代建築展」、「開墾の技術史展」、「くらしの道具」、「活動展示2012」、「収蔵品展・新収蔵品展」、貸館による「現代工芸展」、同「若冲・応挙展」
25年度	「報じられなかった写真展」、「新潟の漆器展」、「暮らしと住まいの道具」、「活動展示2013」、「収蔵品展・新収蔵品展」、「大新潟湊展(3.21~3.31)」、貸館による「現代工芸展」
26年度	「大新潟湊展(4.1~5.18)」、「新潟地震展」、「冬のにいがた」、「合併100周年記念『沼垂』展」、「収蔵品展・新収蔵品展」、貸館による「現代工芸展」
27年度	「田んぼで魚とり展」、「古墳ワールド!」、「戦争とくらし」、「みなどの仕事いまむかし(自主事業)」、「収蔵品展・新収蔵品展」、貸館による「現代工芸展」
28年度	「第四国立銀行展」、「現代新潟風景画展(自主事業)」、「新潟みなどのまつり展(自主事業)」、「体と道具」、「近世黎明展」、「収蔵品展・新収蔵品展」、貸館による「現代工芸展」
29年度	「え?近代絵画のわすれもの展」、「地図コレクション展(自主事業)」、「乙女たちの歩み展」、「旅はほうげん」、「ワンダーランド近世新潟町展(自主事業)」、「収蔵品展・新収蔵品展」、貸館による「現代工芸展」
30年度	「キラリ★新潟<美>の刀剣展」、「にいがた船と港の150年展(自主事業)」、「玉と鏡の世界-西安-新潟友好交流特別展」、「くらし展 容れ物」、「旧新潟税関庁舎と史跡展(自主事業)」、「収蔵品展・新収蔵品展」、貸館による「現代工芸展」

※来館者数に反映されていない博物館活動など

- ・本館セミナー室で実施する各種の講座（毎月開催の博物館講座、館長講座など）
- ・学芸員が外で行う講演会や講義（大学の寄付講座、依頼に基づく出前講義・講演など）
- ・敷地内の見学者（税関の通り抜け人数はカウントしているが、標記なし）
- ・地元団体と共催で開催する各種イベントの参加者（堀とさくらのコンサート、夕涼みコンサート、川祭りなど）
- ・敷地を利用した外部主催イベントの参加者（プロジェクションマッピングなど）

平成30年度事業報告（旧小澤家住宅）

○ 新潟市文化財旧小澤家住宅

31,799,689円

1 文化事業840,371円

指定管理の受託事業者として旧小澤家住宅の設置目的に基づき、常設展示とともに企画事業や教育普及事業などを積極的に開催し、来館者の増加に努めた。

なお、事業の開催に当たってはボランティアの皆さんからガイドを行っていただいた。

【旧小澤家住宅の設置目的】

市文化財に指定された旧小澤家住宅を活用し、みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する。

(1) 常設展示・企画事業177,691円

【常設展示】

旧小澤家住宅の概要と小澤家の来歴、そして「みなとまち新潟」の歴史や生活文化について、グラフィックパネルで紹介した。

【企画事業】

旧小澤家住宅の雰囲気と風合いに合わせた日本の伝統的な工芸品展などを開催した。

① 「小澤家ゆかりの品々」（GW特別展示）展

GWに合わせて小澤家ゆかりの品々から美術工芸品を中心に展示した。

開催期間 平成30年4月28日（土）～5月6日（日）

観覧者数 630人（有料観覧者596人、無料観覧者34人）

② 「端午の節句飾り」展

端午の節句に合わせて小澤家に伝わる節句飾りを展示した。

開催期間 平成30年4月28日（土）～5月13日（日）

観覧者数 877人（有料観覧者835人、無料観覧者42人）

③ 「むかしの教科書—小澤家ゆかりの品々—」展

小澤家に伝わる教科書などを展示し、むかしの人たちの学びについて紹介した。

開催期間 平成30年5月19日（土）～6月10日（日）

観覧者数 1,174人（有料観覧者1,091人、無料観覧者83人）

④ 「屏風」展

小澤家に伝わる屏風や市博物館が所蔵する屏風を展示した。

協力：新潟市歴史博物館

開催期間 平成30年6月19日（火）～7月1日（日）

観覧者数 628人（有料観覧者601人、無料観覧者27人）

- ⑤ 「東日本大震災と海のゴミ」展
海の日になみ、海の大切さの普及啓発の一助として海洋汚染の現状を紹介した。
協力：一般社団法人 JEAN
開催期間 平成30年7月7日(土)～7月16日(月)
観覧者数 372人(有料観覧者308人、無料観覧者64人)
- ⑥ 「新潟漆器」展
新潟市の伝統工芸品「新潟漆器」を紹介した。共催：新潟市漆器同業組合。
開催期間 平成30年8月1日(水)～8月31日(金)
観覧者数 1,329人(有料観覧者1,119人、無料観覧者210人)
- ⑦ 「旅するふろしき」展
新旧様々なふろしきを展示し、その魅力と楽しみ方を紹介した。共催：ふろしきや。
開催期間 平成30年9月11日(火)～9月30日(日)
観覧者数 1,015人(有料観覧者826人、無料観覧者189人)
- ⑧ 「第7回新潟仏壇工芸」展・「越後生紙」展
新潟市の伝統工芸品「新潟仏壇」並びに越後各地に伝わる生紙文化を紹介した。
共催：新潟仏壇組合・越後生紙振興会
開催期間 平成30年10月16日(火)～11月11日(日)
観覧者数 1,503人(有料観覧者943人、無料観覧者560人)
- ⑨ ボランティア企画展・開港150周年記念「小澤家とみなと」展
小澤家とみなとの関りについて、当館ボランティアガイド1年間の勉強成果を作品として紹介した。
開催期間 平成30年12月1日(土)～平成31年2月11日(月)
観覧者数 1,172人(有料観覧者1,030人、無料観覧者142人)
- ⑩ 「ひな人形とからくり人形」展
新潟島の主な文化施設などと共同で実施する雛人形・町めぐり企画に併せて開催した。
当館所蔵の雛人形や新潟ハイカラ文庫所蔵のからくり人形などを展示した。
共催：新潟ハイカラ文庫
開催期間 平成31年2月23日(土)～3月17日(日)
観覧者数 1,291人(有料観覧者849人、無料観覧者442人)

(2) 教育普及事業189,770円

旧小澤家住宅を通して新潟の歴史や文化に関する「学び」と「楽しみ」を提案するため、様々な催し物の開催とともに体験学習を実施した。

① 庭園講習会・・・6月30日(土)、11月17日(土)

夏場と冬場に向けた庭木の手入れについて、当館庭師による講習会を実施した。

② 立川志の彦 落語会 in 旧小澤家住宅・・・7月14日(土)

立川志の彦氏による親子向けと一般向けの落語会を開催した。

【資料4】

- ③ 惑星を見る会・・・7月21日(土)夜
火星の大接近に合わせ、子どもたちに夜空を見上げる楽しみと自然に親しんでもらう事を目的に開催した。
- ④ 「旧小澤家住宅に泊まろう！」・・・7月28日(土)、29日(日)
近隣小学校の児童を対象に、かつての生活様式(蚊帳つり、銭湯、御膳)の一端を学び取ってもらう事を目的に開催した。後日、落選者向けの特別講座も開催した。
- ⑤ 新潟漆器の製作体験・・・8月10日(金)～15日(水)
「新潟漆器」展の関連企画として、沈金絵付や箸の研ぎ出し体験を実施した。
- ⑥ 新潟シティガイド移動講座「にじいろカフェ」・・・9月16日(日)
ベテランシティガイドを講師に、観光ボランティアの意義・新潟シティガイドの役割についての講演会を開催した。
- ⑦ ふろしき講座・・・9月23日(日)
「ふろしき」展の関連企画として、ふろしきの活用講座を実施した。
- ⑧ 新潟仏壇工芸・越後生紙ワークショップ・・・10月21日(日)、28日(日)、11月3日(土)
「新潟仏壇工芸」展・「越後生紙」展の関連企画として、それぞれの職人によるワークショップ(金具打ち・蒔絵塗、和紙折染め・紙の花・提灯づくり)を開催した。
- ⑨ 「小澤家の繁栄と 北前船が運んできた新潟民謡」・・・11月18日(日)
小澤家の繁栄と、新潟の船運の歴史を学芸員が解説し、その後、新潟市民謡連盟が北前船によって運ばれたとされる民謡を紹介した。
- ⑩ 江戸『からくり人形』実演会・・・11月24日(土)、25日(日)
江戸時代から伝わる技術で作ったからくり人形を紹介した。
- ⑪ クリスマスのテーブルアレンジメント・・・12月9日(日)
花や葉を使ったクリスマスらしいフラワーアレンジメント教室を開催した。
- ⑫ 稲穂で作る正月飾り・・・12月16日(日)
稲穂などの自然の素材を使った正月飾り作りの教室を開催した。
- ⑬ 稲わらでつくるひな人形・・・2月24日(日)
「ひな人形とからくり人形」展の関連企画として、稲わらを使ったひな人形作りの教室を開催した。
- ⑭ 江戸『からくり人形』実演会・・・3月2日(土)、3日(日)
「ひな人形とからくり人形」展の関連企画として、江戸時代から伝わる技術で作ったからくり人形を紹介した。
- ⑮ テーブルアレンジメント ONE DAY 講習会・・・3月2日(土)
「ひな人形とからくり人形」展の関連企画として、ひな祭りをイメージしたテーブル花飾り教室を開催した。
- ⑯ 春の酒づくし・・・3月16日(土)、17日(日)
日本酒とおつまみを楽しんでもらいながら、当館学芸員、小売店主、バーテンダーが日本酒に関する講座を開催した。

⑰ ボランティアガイド事業

旧小澤家住宅のボランティアガイドによる勉強会を7回実施すると共に、ボランティア企画展・開港150周年記念「小澤家とみなと」展を開催した。

(3) 施設普及事業462,254円

旧小澤家住宅での様々な楽しみ方を提案するため、時候に合わせた「しつらい」とともに催し物を実施した。

また、事業取組の参考とするため、来館者ニーズのアンケート調査を実施した。

① 山野草の展示・・・5月9日(水)～20日(日)

旧小澤家住宅の風合いを来館者から楽しんでもらうため、通り土間にさまざまな山野草を展示した。

② 藤見煎茶会・・・5月13日(日)

藤の花の咲く季節に合わせ、藤ノ間において煎茶会(煎茶道東阿部流)を開催した。

③ 夏至祭・・・6月9日(土)、10日(日)

夏の町家の雰囲気由来館者から楽しんでもらうため、夏至の日に合わせて音楽や飲食を提供した。なお、和服での来館者は入館料を無料とした。

非公開部分(離れ座敷、奥座敷二階)の公開、庭園のライトアップ(9日20時まで)

④ フレッシュ本町まつり・・・7月22日(日)

地域協力事業として下本町商店会の祭を共同開催し、入館料を無料とした。

⑤ フレッシュ本町「コスプレストリート」・・・5月20日(日)、9月30日(日)

地域協力事業として下本町商店会のイベントに協力し、入館料を無料とした。

⑥ 湊下町展「町灯篇」・・・10月20日(土)

秋の町家の雰囲気由来館者から楽しんでもらうため、「旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会」との共催で開催を20時まで延長し、周辺のライトアップを行った。

また、来館者へは煎茶道東阿部流のご協力による呈茶サービスを行った。

⑦ 秋の大文化祭・・・11月23日(金)祝

秋の町家の雰囲気由来館者から楽しんでもらうため、文化祭を開催して音楽や飲食を提供した。

非公開部分(離れ座敷、奥座敷二階)の公開、庭園のライトアップ(20時まで)

⑧ 年忘れ煎茶会・・・12月22日(土)

年末の煎茶会(煎茶道東阿部流)の開催に合わせ、からくり人形(茶運び人形と文字書き人形)の実演由来館者から楽しんでもらった。

⑨ 花で彩る・・・1月12日(土)～20日(日)

小澤家住宅のお正月の雰囲気由来館者から楽しんでもらうため、通り土間と茶ノ間に春を先取りした色とりどりのお花で飾った。

⑩ 小澤家ごっつおランチ・・・2月2日(土)

小澤家住宅の雰囲気と、新潟らしい食事、旧小澤家住宅周辺で買える新鮮な食材を楽

【資料4】

しんでもらうため、食事会を開催した。

今回は鮭をテーマに、当館学芸員による講演も行った。

⑩ 箏と尺八の演奏会・・・2月23日(土)

旧小澤家住宅の春の雰囲気由来館者から楽しんでもらうため、「ひな人形とからくり人形」展の関連企画として箏の演奏会を開催した。

(4) 調査研究事業1,000円

みなとまち新潟に対する市民の理解を深めるため、小澤家文書や小澤家より寄贈された資料を調査し、その成果を「小澤家ゆかりの品々」展、「小澤家とみなと」展で紹介した。

また、市民が中心となった町並み研究組織「旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会」にも賛助会員として参加した。

(5) 収蔵資料保存管理事業9,656円

今年度、新規に受け入れた資料の仮整理・収蔵作業を行った。

2 文化施設管理受託事業30,942,446円

指定管理の受託事業者として新潟市文化財旧小澤家住宅の適正な維持管理運営を行い、来館者および利用者へのサービスの向上に努めた。

※ 平成30年度旧小澤家住宅入館者数 17,576人 (対前年度比 114.2%)

3 付帯事業16,872円

旧小澤家住宅では、新潟漆器、ふろしき、布製バッグなどを委託で販売し、季節に合わせてこまめに商品の入れ替えを行っている。

当館はオリジナル商品として、箸置き、つま楊枝、お菓子、手ぬぐいなどの開発・販売にも力を入れ、平成30年度からは「しもまちマスキングテープ」の販売を始めた。

収支決算書（旧小澤家住宅 指定管理事業）

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

平成30年度収支決算書

(単位 円)

	予算額	決算額	差異	備考
収入の部				
① 事業収益	31,769,000	31,569,874	199,126	
文化事業収益	26,000	69,900	△ 43,900	講座資料代、ポストカード代等
文化事業受託収益	1,400,000	1,162,797	237,203	新潟市指定管理科(歴史文化事業分)
施設管理受託収益	30,343,000	30,337,177	5,823	新潟市指定管理科(施設管理受託事業分)
② 受取補助金等	0	0	0	
国庫助成金収益	0	0	0	
民間助成金収益	0	0	0	
③ 受取寄付金	100,000	207,120	△ 107,120	
寄付金収入	100,000	207,120	△ 107,120	
④ 雑収益	0	5,823	△ 5,823	
雑収益	0	5,823	△ 5,823	
収入計	31,869,000	31,782,817	86,183	
支出の部				
① 文化事業費	1,526,000	840,371	685,629	歴史文化事業費
諸謝金	100,000	177,337	△ 77,337	・常設展・企画展 177,691
賃金	120,000	123,021	△ 3,021	・教育普及事業 189,770
福利厚生費	1,000	310	690	・施設普及事業 462,254
旅費交通費	50,000	5,610	44,390	・調査研究事業 1,000
通信運搬費	150,000	35,822	114,178	・収蔵資料保存管理 9,656
消耗什器備品費	100,000	15,120	84,880	・その他 0
消耗品費	400,000	264,067	135,933	
修繕費	103,000	0	103,000	
印刷製本費	232,000	145,294	86,706	
使用料及び賃借料	0	6,060	△ 6,060	
手数料	0	12,080	△ 12,080	
役務費	130,000	28,472	101,528	
広告宣伝費	126,000	0	126,000	
食糧費	0	15,478	△ 15,478	
保険料	14,000	6,600	7,400	
支払負担金	0	5,100	△ 5,100	
② 文化施設管理受託事業費	30,343,000	30,942,446	△ 599,446	旧小澤家住宅管理費
給料手当	13,326,000	13,468,976	△ 142,976	・人件費 18,116,780
賃金	1,519,000	1,557,186	△ 38,186	・物件費 12,825,666
福利厚生費	2,314,000	2,258,344	55,656	
退職給付引当金	915,000	832,274	82,726	
旅費交通費	80,000	5,390	74,610	
通信運搬費	285,000	340,995	△ 55,995	
消耗什器備品費	300,000	0	300,000	
消耗品費	300,000	398,371	△ 98,371	
修繕費	103,000	32,400	70,600	
印刷製本費	55,000	7,128	47,872	
燃料費	56,000	50,338	5,662	
光熱水費	1,558,000	1,343,439	214,561	
使用料及び賃借料	1,128,000	1,038,696	89,304	
手数料	30,000	22,464	7,536	
役務費	0	4,536	△ 4,536	
委託費	6,985,000	6,913,189	71,811	
工事請負費	0	924,480	△ 924,480	
保険料	10,000	10,300	△ 300	
食糧費	1,000	0	1,000	
租税公課	1,378,000	1,412,100	△ 34,100	
備品購入費	0	321,840	△ 321,840	
支出計	31,869,000	31,782,817	86,183	
事業活動収支差額	0	0	0	

【資料5】

収支決算書 (旧小澤家住宅 付帯事業)

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

平成30年度収支決算書

(単位 円)

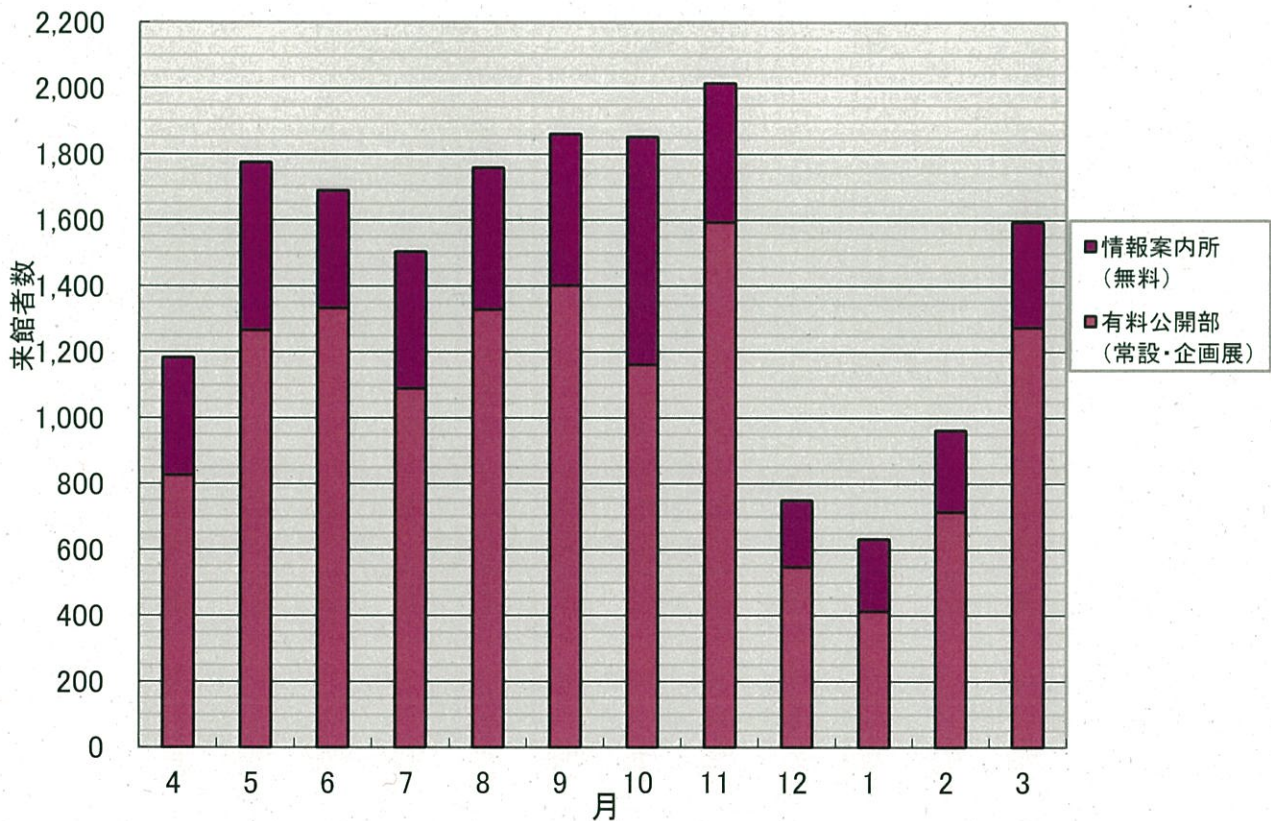
	予算額	決算額	差異	備考
収入の部				
① 販売収益	3,000	30,600	△ 27,600	
販売収益	3,000	30,600	△ 27,600	
② 雑収益	170,000	117,707	52,293	
物品販売委託手数料収入	170,000	117,707	52,293	
その他収入	0	0	0	
当期収入計	173,000	148,307	24,693	
前期繰越収支差額	735,664	735,664	0	
収入計	908,664	883,971	24,693	
支出の部				
① 付帯事業費	173,000	16,872	156,128	
消耗品費	170,000	4,800	165,200	
使用料及び賃借料	0	5,277	△ 5,277	
手数料	3,000	972	2,028	
支払負担金	0	5,823	△ 5,823	
当期支出計	173,000	16,872	156,128	
当期収支差額	0	131,435	△ 131,435	
次期繰越収支差額	735,664	867,099	△ 131,435	

平成30年度 旧小澤家住宅 来館者内訳

○月別来館者数

月	開館日数	有料公開部 (常設・企画展)	情報案内所 (無料)	H30月別 来館者数計	H30日平均 来館者数	備考
4	26	827	356	1,183	46	
5	26	1,266	509	1,775	68	
6	20	1,334	356	1,690	85	
7	26	1,089	415	1,504	58	
8	28	1,329	430	1,759	63	
9	26	1,402	459	1,861	72	
10	25	1,161	691	1,852	74	
11	24	1,593	422	2,015	84	
12	23	547	203	750	33	
1	24	413	219	632	26	
2	24	715	247	962	40	
3	26	1,274	319	1,593	61	
計	298	12,950	4,626	17,576	59	

30年度月別来館者数

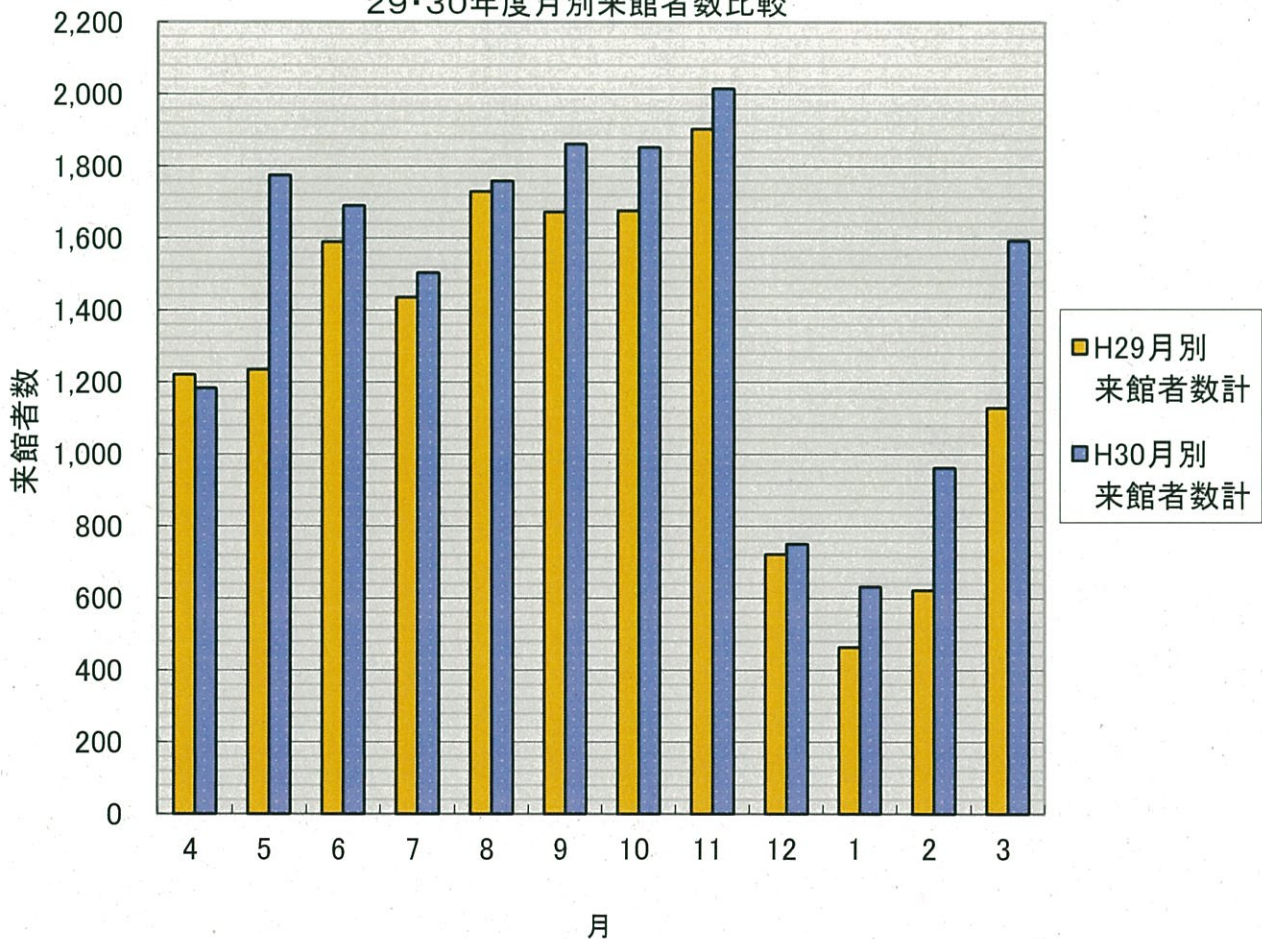


平成29年度 旧小澤家住宅 来館者内訳

○月別来館者数

月	開館日数	有料公開部 (常設・企画展)	情報案内所 (無料)	H29月別 来館者数計	H29日平均 来館者数	備考
4	26	793	428	1,221	47	
5	24	944	291	1,235	51	
6	22	1,095	494	1,589	72	
7	26	963	472	1,435	55	
8	28	1,276	453	1,729	62	
9	27	1,142	530	1,672	62	
10	27	966	710	1,676	62	
11	26	1,415	488	1,903	73	
12	23	445	277	722	31	
1	22	235	228	463	21	
2	20	377	245	622	31	
3	26	761	368	1,129	43	
計	297	10,412	4,984	15,396	51	

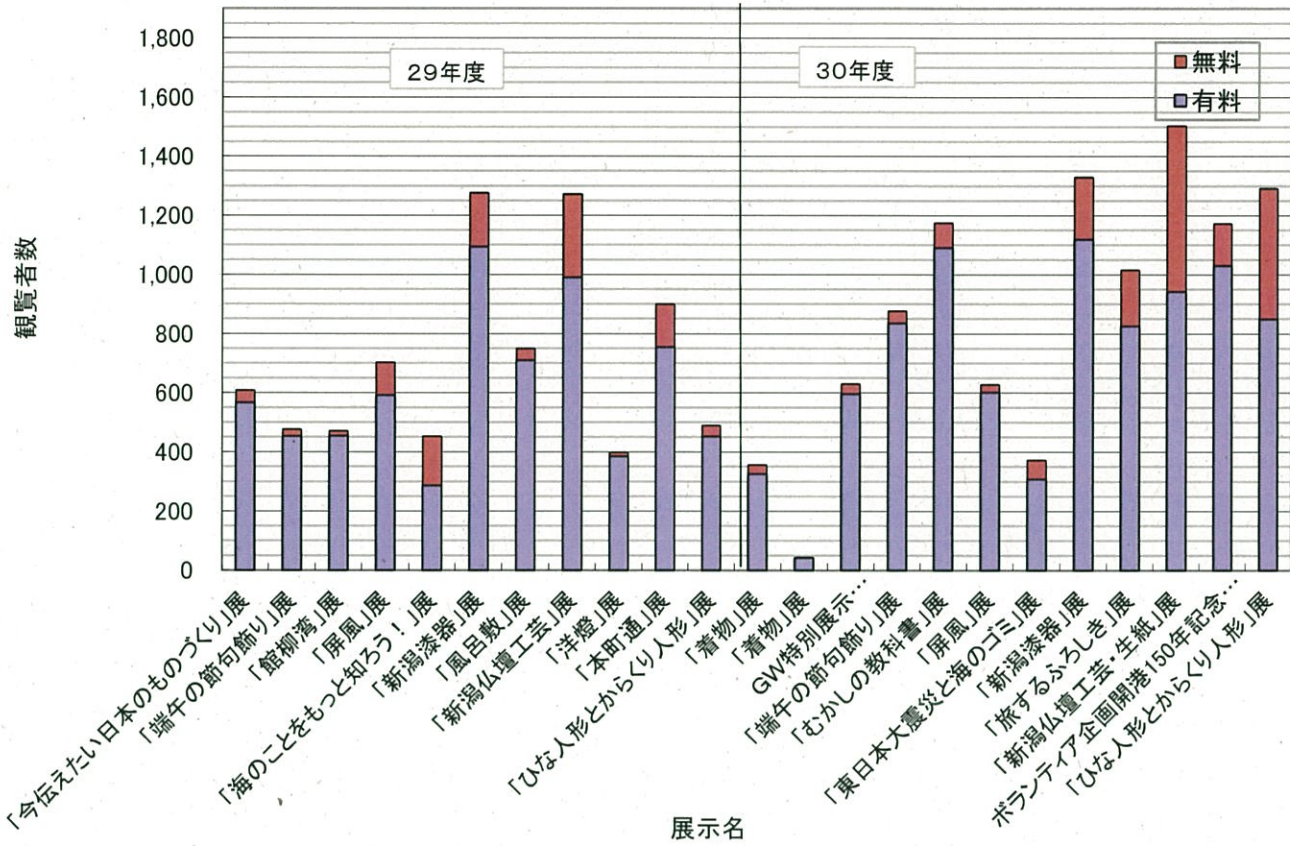
29・30年度月別来館者数比較



30年度 旧小澤家住宅 企画展観覧者数(参考29年度)

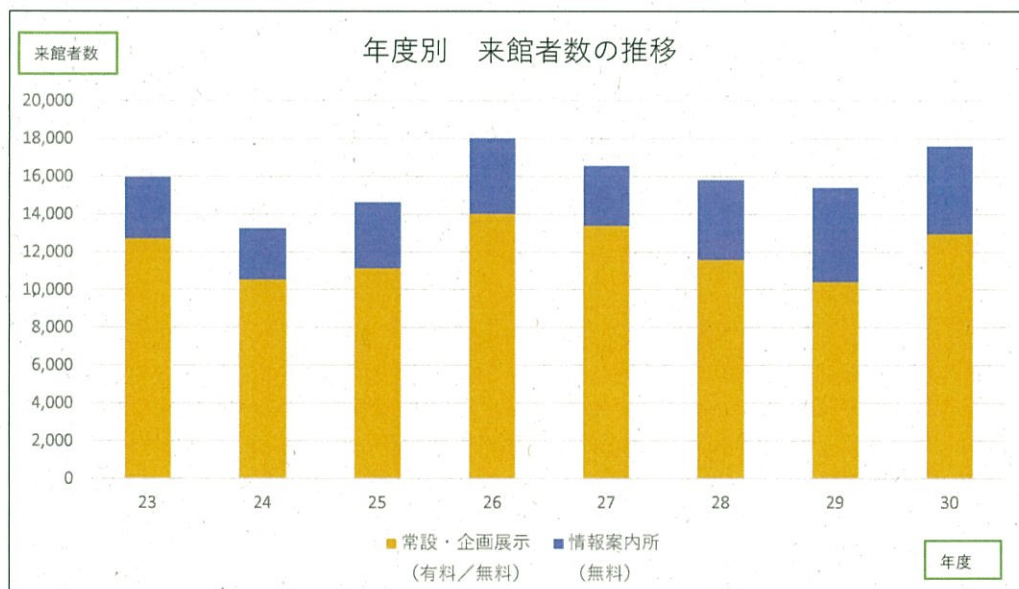
	企画展名	会期	合計	有料計	個人	団体・ セット券	無料計	うち授業	うち小中 土日無料	開館 日数	日平均
29 年度	「今伝えたい日本のものづくり」展	H29.4.1～4.23(20日間)	608	567	204	363	41	4	5	20	30
	「端午の節句飾り」展	H29.4.29～5.7(9日間)	476	453	146	307	23		7	9	53
	「館柳湾」展	H29.5.13～5.28(14日間)	471	454	161	293	17			14	34
	「屏風」展	H29.6.17～6.25(8日間)	702	592	394	198	110	10	19	8	88
	「海のこともっと知ろう！」展	H29.7.8～7.17(9日間)	452	287	92	195	165		26	9	50
	「新潟漆器」展	H29.8.1～8.31(28日間)	1,276	1,094	369	725	182		2	28	46
	「風呂敷」展	H29.9.9～9.29(19日間)	749	710	241	469	39		1	19	39
	「新潟仏壇工芸」展	H29.10.7～11.5(27日間)	1,271	990	378	612	281	21	13	27	47
	「洋燈」展	H29.11.9～11.19(10日間)	398	385	107	278	13		1	10	40
	「本町通」展	H29.11.25～2.12(57日間)	899	754	342	412	145	58	5	57	16
	「ひな人形とからくり人形」展	H30.2.24～3.11(14日間)	489	452	152	300	37		3	14	35
「着物」展	H30.3.17～3.31(11日間)	356	326	176	150	30		3	11	32	
30 年度	「着物」展	H30.4.1～4.1(1日間)	43	42	17	25	1			1	43
	GW特別展示「小澤家ゆかりの品々」	H30.4.28～5.6(9日間)	630	596	216	380	34	2		9	70
	「端午の節句飾り」展	H30.4.28～5.13(14日間)	877	835	288	547	42	2		14	63
	「むかしの教科書」展	H30.5.19～6.10(20日間)	1,174	1,091	526	565	83		22	20	59
	「屏風」展	H30.6.19～7.1(12日間)	628	601	212	389	27			12	52
	「東日本大震災と海のゴミ」展	H30.7.7～7.16(9日間)	372	308	109	199	64	38	2	9	41
	「新潟漆器」展	H30.8.1～8.31(28日間)	1,329	1,119	384	735	210	16	13	28	47
	「旅するふろしき」展	H30.9.11～9.30(18日間)	1,015	826	246	580	189		4	18	56
	「新潟仏壇工芸・生紙」展	H30.10.16～11.11(23日間)	1,503	943	364	579	560	12	13	23	65
	ボランティア企画開港150年記念「小澤家とみなと」展	H30.12.1～H31.2.11(57日間)	1,172	1,030	397	633	142		13	57	21
	「ひな人形とからくり人形」展	H31.2.23～3.17(20日間)	1,291	849	388	461	442		27	20	65

30年度 旧小澤家住宅の企画展観覧者数（参考 29年度）



開館からの来館者数の推移（旧小澤家住宅）

年度	来館者数	対前年度比	常設・企画展示 (有料/無料)	情報案内所 (無料)	備考
23	15,950	-	12,700	3,250	○7月開館
24	13,237	△2,713	10,538	2,699	
25	14,608	1,371	11,134	3,474	
26	18,005	3,397	14,018	3,987	
27	16,552	△1,453	13,378	3,174	
28	15,795	△757	11,578	4,217	
29	15,396	△399	10,412	4,984	
30	17,576	2,180	12,950	4,626	
累計	127,119		96,708	30,411	



平成31年度事業計画（歴史博物館）

- 新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等 219,516千円
- 1 文化事業 13,404千円
 「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため以下の各種事業を行う。
- (1) 展示運営更新 0千円
 常設展示室の部分展示替え等により情報内容を更新する。
- (2) 企画展示事業 8,039千円
 興味深いテーマを設定し、地域の歴史・文化を楽しく分かりやすく市民に伝える展示を行う。今年度は指定管理事業として以下の3本の企画展を開催する。
- ① 「新潟市の文化財」
 開催期間 平成31年4月13日～6月16日 57日間
 新潟市域に所在する指定文化財のうち、主に公的機関が管理するものの中から地域の特徴をあらわす資料をえらび、その歴史や魅力を紹介する。
- ② 「開港場新潟」
 開催期間 平成31年7月13日～8月25日 39日間
 本年、新潟市は開港150年を迎えた。本展では、新潟開港が決定するまでの道のりや開港を迎えた当時の状況、その後の新潟の変化など、開港をめぐる新潟の歴史を紹介する。
- ③ 第16回むかしのくらし展「布」
 開催期間 平成31年9月14日～12月8日 74日間
 糸車のような布の生産に必要な道具や、洗濯板など関連する道具、白根しぼりのように新潟市に関係がある布などを紹介する。
- ④ 収蔵品展・新収蔵品展
 開催期間 平成32年2月15日～3月22日 32日間
 館収蔵資料を効果的に公開するため、テーマを設けて資料を紹介する収蔵品展と、2019年度に新たに受け入れた資料を紹介する新収蔵品展を開催する。
- ⑤ その他
 次年度に開催予定の企画展の準備を行う。(印刷物の作成等)
- ※このほか、自主事業で「地図と古写真で見る“新潟の文明開化”」を開催する。
- (3) 教育普及事業 851千円
 新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人やモノ、情報などの資源を活用して、市民へ歴史に関するさまざまなサービスを提供したり、学

校等の教育活動を提案したりするとともに、レファレンス用開架図書を追加する。

① 体験の広場事業

小学生や家族連れを主な対象として、「つかう」、「しらべる」、「つくる」という機能を持つ、3つの広場「昔のくらしに触れる場」、「情報学習の場」、「創作活動の場」での体験プログラムを、土・日・祝日を中心に年50回程度開催する。

また、夏休み向けの体験や大人を対象とした体験プログラムなど、対象を設定した体験プログラムも織り交ぜて行く。

※このほか、自主事業で「みなとびあこども歴史クラブ」と「大人の体験プログラム」を開催する。

② 博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等の対応を行うとともに、新潟大学と連携して当館学芸員の寄附講義や大学生の実習受入れを行う。学校のニーズに応じて出前授業にも対応する。

③ 講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案するため、幅広い年齢層や個別のニーズに対応する以下の各種講座を開催する。

- | | |
|----------|-----------------------|
| ・博物館講座 | 年10回（4、3月を除く各月の第3日曜日） |
| ・館長講座 | 全4回（3/1・8・15・22） |
| ・古文書入門講座 | 全4回（11/3・17、12/1・15） |

※このほか、自主事業で「中級古文書演習」と「史楽講座」を開催する。

④ ボランティア事業

常設展示解説、敷地解説、体験の広場プログラムでのボランティア活動を支援するとともに、館の顔としてスキルアップを図る。またボランティア活動への新規希望者に向けた研修を行う。

(4) 施設普及事業 2,580千円

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図る。

① 地域連携

地元市民団体と共催し、博物館を会場に野外コンサートや夏祭りなどのイベントを開催する。

② みなとびあファンクラブ

「みなとびあファンクラブ」会員を対象とした事業を行う。講演会や企画展鑑賞会、史跡探訪ツアーや新潟市内の街歩きなどを開催する。

【資料7】

(5) 調査研究事業 681 千円

市民の関心を呼び起こすテーマの探求や博物館活動の発展のために、調査研究活動を行う。当館の基本テーマである「湊と湊町」「低湿地のくらし」に合わせた調査・研究を基本とし、そのほか学芸員が各自のテーマで調査・研究を実施する。そうした成果を博物館講座等で市民に報告するとともに、研究紀要として刊行する。

(6) 資料整理事業 1,253 千円

寄贈や購入などにより受け入れた歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行う。

① 保存環境管理

歴史資料を長期保存するための資料保全・環境整備。

新規収集資料の燻蒸・殺虫処置や、博物館収蔵庫・石庫・新潟市文化財センター・旧木場小学校・旧板井保育園等に所蔵する資料を、よりよい状況で保存するための IPM をはじめとする資料保存環境の管理に努める。

② 資料収集整理

地域の歴史資料を収集するとともに、資料を保存管理するための基礎的データや資料活用するための資料情報を調査・記録し、データベース化する整理作業を行う。併せて、資料の保存のためのクリーニング・養生などの処置を行う。

2 文化施設管理受託事業 204,222 千円

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等に加え、信濃川左岸緑地の管理運営を行う。

(1) 歴史博物館管理事業

① 博物館本館（常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等）

② 旧第四銀行住吉町支店（応接室、会議室、日本間）

③ 屋外施設（広場、堀、園路等）

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

① 旧新潟税関庁舎

② 史跡（石段、石積み、石庫等）

(3) 信濃川左岸緑地管理事業

3 自主事業「みなとぴあ歴史発見プロジェクト」 1,038 千円

平成 27 年度から実施している自主事業で、こどもからおとなまで幅広く、みなとまち新潟の歴史に親しみ、自ら歴史を発見する喜びを知ってもらい、開港 150 周年を迎えた新潟の街をみんなで盛り上げていこうというもの。事業実施に当たり、地域の企業・団体から協賛金をいただくなど自主財源を確保し、以下の事業を行う。

① 企画展

「地図と古写真で見る“新潟の文明開化”」

開催期間 平成 31 年 12 月 21 日～平成 32 年 2 月 2 日 30 日間

明治元年の開港後、近代化の中で新潟がどのように移り変わってきたのか、その様子を地図と古写真によって視覚的にたどる。

※みなとの博物館ネットワーク・フォーラム助成事業

② 史楽講座

歴史好きの市民に向け、テーマに沿った話を様々な視点で分かりやすく語ってもらう連続講座。6～9 月の第 2 日曜日に開催。

③ 中級古文書演習

「字のくずしだけでなく、実際の古文書を読みたい」「もう少し難しい古文書を解読したい」そんな方にお勧めの宿題あり、予習・復習必須のゼミ形式で古文書を学ぶ。

全 20 回の講座。4～3 月の間、第 2、第 4 水曜日の午前・午後に開講。定員 30 人。

④ みなとぴあこども歴史クラブ

小学生を対象に、古代から現代までの人々の暮らしと生活の一端をプログラム化して、体験してもらうことで、歴史を身近に感じ、かつての暮らしや文化財保護を考えるきっかけづくりを行う。

毎月第 3 日曜日に実施 全 11 回 40 人程度募集

⑤ 大人の体験プログラム

大人が楽しめる歴史・文化にかかわる体験イベントを企画・実施する。

4 付帯事業 852 千円

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行う。

① 物販等ショップの運営

② 自動販売機設置

【資料8】

令和元年度事業 企画展 「新潟市の文化財」展

展覧会名	「新潟市の文化財」展
主旨・目的 内容	本展覧会は、新潟市に残された指定文化財の存在とその価値を市民に広く伝える展覧会として開催した。新潟市には有形文化財、無形文化財、民俗文化財、記念物の4種類、件数にして356件の文化財があり、今回の展覧会では当館をはじめ、各区の公的機関が管理する文化財のうち特に地域の特徴をあらわしているものを紹介した。展示した文化財の件数は前期展示で55件、後期展示で57件である。
主催・共催	新潟市歴史博物館、新潟日报社
後援	新潟市教育委員会、朝日新聞新潟総局 毎日新聞新潟支局 読売新聞新潟支局 日本経済新聞新潟支局 産経新聞新潟支局 NHK新潟放送局、BSN新潟放送 NST、TeNYテレビ新潟 UX新潟テレビ21 エフエムラジオ新潟 FM PORT 79.0 FM KENTO
会期	4月13日(土)～6月16日(日) 開館日57日
観覧料	一般 500円 大・高 300円 中・小 200円 ※土・日曜日及び祝日は中学生・小学生は無料
入場者数	総入場者数：4,437人 内訳：有料 2,989人（個人 1,858人 / 団体 1,131人） 無料 1,448人
観覧料収入	1,397,300円
事業費 (支出)	予算額 2,143,000円 支出額 (未集計)円
展示資料	1. 有形文化財 建造物では旧笹川家住宅(国)、燕喜館(国登録)等パネルで紹介した。絵画では行田魁庵筆「新潟入船之図」(市)、彫刻では木造阿弥陀如来立像(県)、工芸は刀装エゾ拵え(市)、書跡は竹内式部書「松」一字五言対句(市)、歴史資料は新潟市上水道敷設関係資料(県)の一部、考古資料では菖蒲塚古墳経塚出土品(国)等を展示した。 2. 民俗文化財 篠原幸三郎家住宅(市)、畜動舎(市)等をパネルで紹介し、越後毒消しコレクション(市)の一部、籤箱・籤棒(市)等を展示した。 3. 記念物 昨年指定された新津油田金津鉾場跡(国)、白山公園(国)ほか、幸清水(市)、鳥屋野の逆ダケの藪(国)、マガン(国)等をパネル展示した。

出版物	ポスター： 1,200 枚 チラシ： 20,000 枚 図録： 1,000 部
関連事業	<p>1. 展示解説会 【日 時】毎週日曜日 午後2時～(40分程度) 【参加費】無料 【参加者】計51人(計10回実施)</p> <p>2. 講演会「自慢したい新潟の文化財」 【日 時】4月27日(土) 午後2時～4時 【講 師】入江清次氏(新潟市立新津第二中学校校長) 大森慎子氏(新潟市文化政策課) 【会 場】新潟市歴史博物館 2階セミナー室 【参加費】無料 【参加者】50人</p> <p>3. 神楽舞の実演(市指定無形民俗文化財「長場の神楽」) 【日 時】5月18日(土) 午前11時～、午後1時～2回実演 【出 演】長場神楽保存会 16名 【会 場】新潟市歴史博物館 1階エントランス 【参加費】無料 【参加者】約100人</p> <p>4. 文化財見学バスツアー(動く市政教室) 【日 時】5月19日(日) 午前9時～午後4時 【会 場】古津八幡山遺跡、新津油田金津鉦場跡、里山ビジターセンター、旧笹川家住宅、諏訪神社本殿 【参加費】無料 【参加者】計35人</p>
広報	ホームページ作成・プレスリリース・市報掲載 チラシ・ポスター制作と発送及び貼付依頼 新潟日報、毎日新聞、読売新聞、朝日新聞、月刊にいがた広告掲載 NHKによる広報協力と番組放送
備考	

【資料9】

収支予算書(博物館 指定管理事業)

平成31年4月1日から平成32年3月31日まで

平成31年度予算書

(単位 千円)

科 目	予算額	前年度予算額	差異	備 考
収入の部				
① 事業収益	217,626	257,680	△ 40,054	
文化事業収益	404	275	129	
事業受託収益	13,000	54,936	△ 41,936	
施設管理受託収益	204,222	202,469	1,753	
② 受取補助金等	0	0	0	
国庫助成金収益	0	0	0	
民間助成金収益	0	0	0	
③ 受取寄付金	0	0	0	
寄付金収入	0	0	0	
④ 雑収益	0	0	0	
雑収益	0	0	0	
収入計	217,626	257,680	△ 40,054	
支出の部				
① 文化事業費	13,404	55,211	△ 41,807	歴史文化事業費
賃金	1,674	1,778	△ 104	・展示運営更新 0
福利厚生費	0	3	△ 3	・企画展示事業 8,039
旅費交通費	441	6,350	△ 5,909	・教育普及事業 851
通信運搬費	873	1,151	△ 278	・施設普及事業 2,580
消耗什器備品費	320	308	12	・調査研究事業 681
消耗品費	790	1,201	△ 411	・資料整理事業 1,253
修繕費	300	403	△ 103	
印刷製本費	3,656	7,216	△ 3,560	
使用料及び賃借料	193	223	△ 30	
保険料	44	10,535	△ 10,491	
諸謝金	483	958	△ 475	
委託費	2,150	17,750	△ 15,600	
広告宣伝費	2,280	6,424	△ 4,144	
食糧費	100	711	△ 611	
備品購入費	100	200	△ 100	
② 文化施設管理受託事業費	204,222	202,469	1,753	歴史博物館等管理運営費
報酬	4,200	4,200	0	・人件費 70,965
給料手当	48,658	47,948	710	・物件費 133,257
賃金	6,679	6,629	50	
福利厚生費	8,882	8,793	89	
退職給与引当金	2,546	3,047	△ 501	
旅費交通費	96	80	16	
通信運搬費	1,163	1,166	△ 3	
消耗什器備品費	556	1,233	△ 677	
消耗品費	1,106	1,392	△ 286	
修繕費	1,009	2,344	△ 1,335	
印刷製本費	166	165	1	
燃料費	65	130	△ 65	
光熱水費	28,090	27,607	483	
使用料及び賃借料	4,017	3,996	21	
保険料	57	80	△ 23	
諸謝金	243	240	3	
租税公課	6,467	5,907	560	
支払負担金	55	55	0	
委託費	90,049	87,340	2,709	
食糧費	15	15	0	
手数料	103	102	1	
支出計	217,626	257,680	△ 40,054	
収支差額	0	0	0	

収支予算書(博物館 歴史発見プロジェクト)

平成31年4月1日から平成32年3月31日まで

平成31年度予算書

(単位 千円)

科 目	予算額	前年度予算額	差 異	備 考
収入の部				
① 事業収益	594	585	9	
文化事業収益	594	585	9	講座資料代等
② 受取補助金等	250	0	250	
民間助成金収益	250	0	250	みなとのネットワークフォーラム
③ 受取寄付金	400	400	0	
寄付金収入	400	400	0	
④ 特定費用準備資金	2,892	1,782	1,110	
前年度特定費用準備資金	2,892	1,782	1,110	
収入計	4,136	2,767	1,369	
支出の部				
① 文化事業費	1,038	1,536	△ 498	歴史発見プロジェクト
賃金	166	205	△ 39	・企画展示事業 606
旅費交通費	20	50	△ 30	・教育普及事業 262
通信運搬費	112	168	△ 56	・施設普及事業 170
消耗品費	150	243	△ 93	
印刷製本費	200	300	△ 100	
諸謝金	110	90	20	
委託費	250	350	△ 100	
役務費	0	100	△ 100	
食糧費	30	30	0	
支出計	1,038	1,536	△ 498	
特定費用準備資金繰入金	3,098	1,231	1,867	
収支差額	0	0	0	

【資料9】

収支予算書(博物館 付帯事業)
平成31年4月1日から平成32年3月31日まで

平成31年度予算書

(単位:千円)

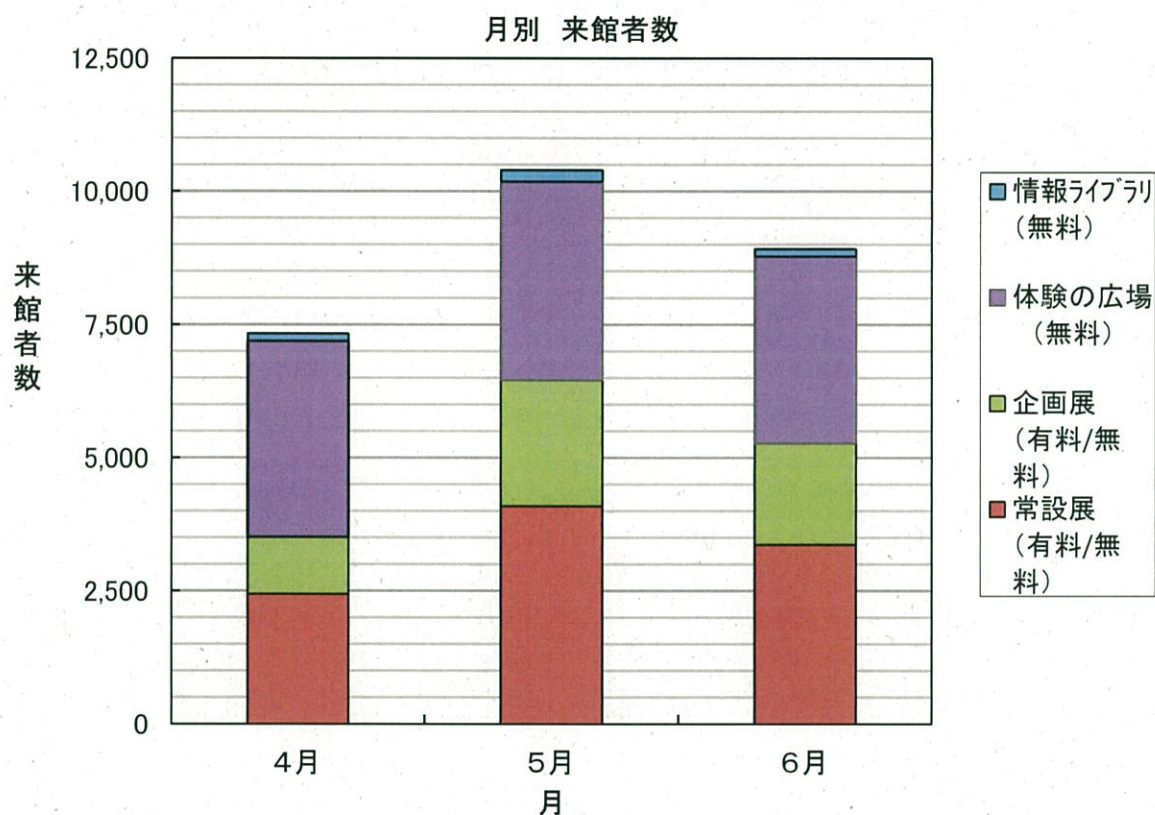
科 目	予算額	前年度予算額	差異	備 考
収入の部				
① 販売収益	490	174	316	
販売収益	490	174	316	
② 雑収益	362	320	42	
物品販売手数料	161	137	24	
自動販売機手数料	103	120	△ 17	
その他	98	63	35	
収入計	852	494	358	
支出の部				
① 付帯事業費	852	494	358	ショップ等運営費
消耗品費	411	51	360	
光熱水費	33	32	1	
使用料及び賃借料	113	113	0	
租税公課	1	0	1	
委託費	287	292	△ 5	
手数料	7	6	1	
支出計	852	494	358	
予備費	0	0	0	
① 当期収支差額	0	0	0	
② 前期繰越収支差額	1,454	1,534	△ 80	
③ 次期繰越収支差額	△ 1,454	△ 1,534	80	
収支差額	0	0	0	

平成31年度 来館者数内訳（歴史博物館）

○月別来館者数

（令和元年6月30日現在）

月	来館者数 合計	常設展 (有料/無料)	企画展 (有料/無料)	体験の広場 (無料)	情報ライブラリ (無料)	開館 日数	1日平均 来館者数
4月	7,330	2,438	1,071	3,681	140	26	282
5月	10,401	4,090	2,367	3,726	218	27	385
6月	8,920	3,369	1,898	3,515	138	26	343
合計	26,651	9,897	5,336	10,922	496	79	337



※各月の企画、イベント等

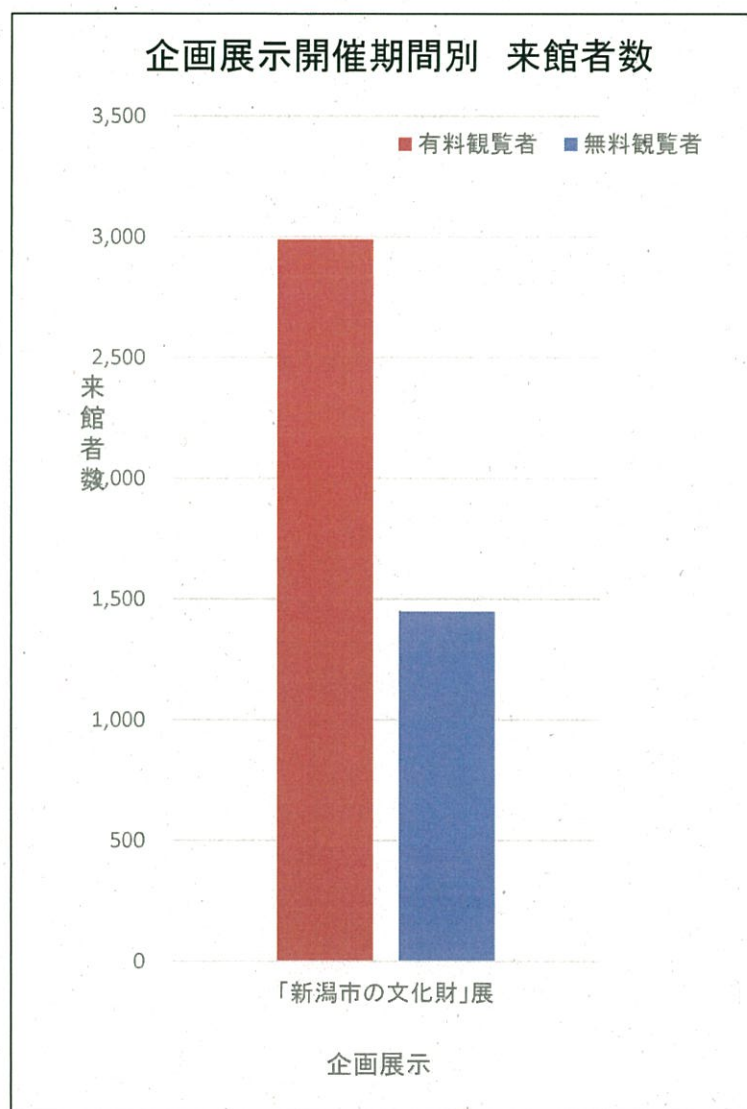
4月	◇企画展「新潟市の文化財」展(4/13～6/16) ○旧新潟税関リニューアルイベント「春の税関まつり」(4/13)
5月	◇企画展「新潟市の文化財」展(4/13～6/16) ○ゴールデンウィーク(10連休) ○つつじ祭り(5/6)
6月	◇企画展「新潟市の文化財」展(4/13～6/16) ○貸館「現代工芸新潟会展」(6/22～6/30)

【資料10】

○企画展示別 観覧者数

(令和元年6月30日現在)

企画展示	観覧者数 合計	有料観覧者			無料観覧者			開館 日数	1日平均 観覧者数
		合計	個人	団体	うち授業	うち小中 土日			
「新潟市の文化財」展 (31.4.13～6.16)	4,437	2,989	1,858	1,131	1,448	499	186	57	78



平成 3 1 年度事業計画 (旧小澤家住宅)

○ 新潟市文化財旧小澤家住宅

32,819千円

1 文化事業1,687千円

指定管理の受託事業者として、小澤家住宅の設置目的に基づき以下の各種事業を行う。

【旧小澤家住宅の設置目的】

市文化財に指定された旧小澤家住宅を活用し、みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する。

(1) 常設展示・企画事業464千円

【常設展示】

みなとまち新潟の歴史・生活文化並びに旧小澤家住宅や小澤家の概要について、グラフィックパネル等で紹介する。

【企画展示】

①「むかしの子ども服」展

開催期間 平成 31 年 4 月 6 日 (土) ~ 4 月 21 日 (日)

昨年度寄贈を受けた小澤家ゆかりの子ども服を展示し、衣料の形態からむかしの暮らしの一端を紹介する。

②GW特別展「端午の節句飾りと小澤家ゆかりの品々」展

開催期間 平成 31 年 4 月 27 日 (土) ~ 5 月 19 日 (日)

観光客が多いゴールデンウィークに合わせ、端午の節句飾りを展示し、道具蔵にて当館及び小澤氏所蔵の資料を展示する。

③「屏風と掛け軸」展

開催期間 平成 31 年 6 月 1 日 (土) ~ 6 月 16 日 (日)

古建築という館の特製を活かし、新潟市歴史博物館協力のもと館内各所で風合いにあった屏風を展示する。なお、展示資料の選定、展示設営作業は市民参加型を予定する。

協力：新潟市歴史博物館

④「東日本大震災と海のゴミ」展

開催期間 平成 31 年 7 月 6 日 (土) ~ 7 月 15 日 (月)

海の日の前後にあわせ、小澤家とも縁の深い「海」の現代的な問題に触れる機会として、一般社団法人 J E A N 所蔵の海ゴミ問題啓発に関する写真パネルを展示する。

協力：一般社団法人 J E A N

⑤「二代目七三郎と旅行」展

開催期間 平成 31 年 7 月 27 日 (土) ~ 9 月 1 日 (日)

夏期休暇期にあわせ、家族連れ客にも馴染みがあるテーマとして旅行を取り上げる。

これにあたり昨年度寄贈を受けた新資料を中心に展示を構成する。

⑥「ふろしき」展

開催期間 平成 31 年 9 月 7 日 (土) ~ 9 月 29 日 (日)

むかしの道具の一つとして「ふろしき」を取り上げ展示する。これにあたり小澤氏所蔵の古いふろしきと現代のふろしきをあわせて展示することで、用途のみならず、その意匠の違いを新旧比較してみるための機会とする。

共催：ふろしきや

⑦「新潟仏壇工芸・越後生紙」展

開催期間 平成 31 年 10 月 22 日 (火) ~ 11 月 10 日 (日)

当市の伝統的工芸品の一つ「新潟・白根仏壇」から「新潟仏壇」を展示する。これにあたり仏壇製作の技法を用いた仏壇以外の製作物の展示と職人の紹介も行う。

また、県内の手漉き和紙職人による組合「越後生紙振興組合」と共催し、県内の各所に伝わる様々な和紙制作技法を紹介する。

共催：新潟仏壇組合、越後生紙振興組合

⑧ボランティア企画「小澤家の人びと (仮)」展

開催期間 平成 31 年 11 月 23 日 (土) ~ 平成 32 年 2 月 2 日 (日)

当館ボランティアスタッフ有志による、市民参加型の企画展。2018 年度に引き続き「小澤家」をテーマに毎月勉強会を開き、その成果を発表する場として展示を行う。これにあたりボランティアスタッフが展示内容を検討し、展示設営作業を行う。

⑨「ひな人形とからくり人形」展

開催期間 平成 32 年 2 月 22 日 (土) ~ 3 月 22 日 (日)

上巳にあわせ、当館及び近隣に伝わったとされる雛人形を展示する。また、日本の伝統的な人形文化の一端を紹介する目的で新潟ハイカラ文庫所蔵の古式雛当館ボランティアによる企画展。あらためてみなと小澤家の歴史を振り返る。

(2) 教育普及事業 283千円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味ニーズに対応するため、ボランティアなどの人やモノ、情報などの資源を活用して、市民へ歴史に関するさまざまなサービスを提供したり、学校等の教育活動を提案したりする。

① 体験学習事業

- ・ 仏壇工芸体験、生紙体験 「新潟仏壇・生紙」展中
- ・ 稲穂でつくる正月飾り
- ・ 稲わらでつくるひな人形

② 宿泊体験事業

- ・ 新潟市内の小学 4 年生を招いて、宿泊体験を行う。

③ 講座・講習・講演会事業

- ・ 企画展の内容に即した講演会
からくり人形実演
- ・ 庭園講座 全 2 回 (春 1 回、秋 1 回)

④ ボランティア事業

- ・新規ボランティア養成
- ・ボランティア勉強会の実施
- ・ボランティア企画展の実施

⑤企画展体験事業

- ・屏風展の企画・展示作業

(3) 施設普及事業638千円

旧小澤家住宅の活動を広く市民に知ってもらうため、広報用の印刷物を作成したり、SNSによる情報発信をしたり、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行ったりする。

また、季節に合わせたしつらいや、イベントの開催などにより、来館の動機付けを行う。

① 芸術文化活動の開催

- ・市民企画フラワーアレンジメント 花で彩る 平成 32 年 3 月中
- ・フラワーアレンジメント体験

② 季節に合わせたしつらい

- ・山野草の展示
- ・応接セットの展示

③ 季節に合わせたイベントの開催

- ・夏至祭 平成 31 年 6 月 22 日 (土)、23 日 (日)
- ・秋の酒づくり 平成 31 年 9 月 7 日 (土)、8 日 (日)
- ・秋の大文化祭 平成 31 年 11 月 23 日 (土・祝)
- ・春の酒づくり 平成 32 年 3 月 20 日 (金)、21 日 (土)、22 日 (日)

④ 文化財の雰囲気の中で学べる講習会の開催

- ・大徳寺真珠庵 おはなし会 平成 31 年 6 月 16 日 (日)

(4) 調査研究事業104千円

市民が注目し、深く関心のあるテーマの探求や本施設における活動の発展のために、調査研究活動を行う。

(5) 収蔵資料の保存管理事業178千円

旧小澤家より寄贈を受けた歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用する。新規受け入れ資料の保存と目録の作成。

(6) その他事業20千円

地元団体、関連施設と連携した催事を開催する。

- ・新潟市民茶会 平成 31 年 10 月 6 日

2 文化施設管理受託事業30,931千円

旧小澤家住宅管理事業

新潟市文化財に指定されていることを理解し、利用者へのサービスの向上に努め、旧小澤

【資料 11】

家住宅（情報案内所・藤ノ間・百合ノ間・道具蔵・離れ座敷等）の管理運営を行う。

3 付帯事業201千円

来館者に対するサービスの充実を目的に、和の文化、みなとまちや歴史に関するグッズ等を扱ったショップの運営を行う。

物販等ショップの運営

収支予算書(旧小澤家住宅 指定管理事業)

平成31年4月1日から平成32年3月31日まで

平成31年度予算書

(単位 千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
収入の部				
① 事業収益	32,375	31,769	606	講座資料代、体験プログラム参加費等
文化事業収益	33	26	7	
文化事業受託収益	1,411	1,400	11	新潟市指定管理料(歴史文化事業分)
施設管理受託収益	30,931	30,343	588	新潟市指定管理料(施設管理受託事業分)
② 受取補助金等	0	0	0	
国庫助成金収益	0	0	0	
民間助成金収益	0	0	0	
③ 受取寄付金	243	100	143	
寄付金収入	243	100	143	寄付金
収入計	32,618	31,869	749	
支出の部				
① 文化事業費	1,687	1,526	161	
賃金	120	120	0	歴史文化事業費
福利厚生費	1	1	0	・常設展・企画展 464
旅費交通費	51	50	1	・教育普及事業 283
通信運搬費	139	150	△ 11	・施設普及事業 638
消耗什器備品費	101	100	1	・調査研究事業 104
消耗品費	546	400	146	・保存管理事業 178
修繕費	104	103	1	・その他 20
印刷製本費	234	232	2	
諸謝金	100	100	0	
役務費	131	130	1	
広告宣伝費	134	126	8	
保険料	14	14	0	
手数料	12	0	12	
② 文化施設管理受託事業費	30,931	30,343	588	
給料手当	13,515	13,326	189	旧小澤家住宅管理費
賃金	1,556	1,519	37	・人件費 18,407
福利厚生費	2,328	2,314	14	・物件費 12,524
退職給付費用	1,008	915	93	
旅費交通費	81	80	1	
通信運搬費	288	285	3	
消耗什器備品費	0	300	△ 300	
消耗品費	303	300	3	
修繕費	294	103	191	
印刷製本費	55	55	0	
燃料費	57	56	1	
光熱水費	1,574	1,558	16	
使用料及び賃借料	1,149	1,128	21	
保険料	10	10	0	
租税公課	1,568	1,378	190	
委託費	7,114	6,985	129	
食糧費	1	1	0	
手数料	30	30	0	
支出計	32,618	31,869	749	
事業活動収支差額	0	0	0	

【資料12】

収支予算書(旧小澤家住宅 付帯事業)
平成31年4月1日から平成32年3月31日まで

平成31年度予算書

(単位 千円)

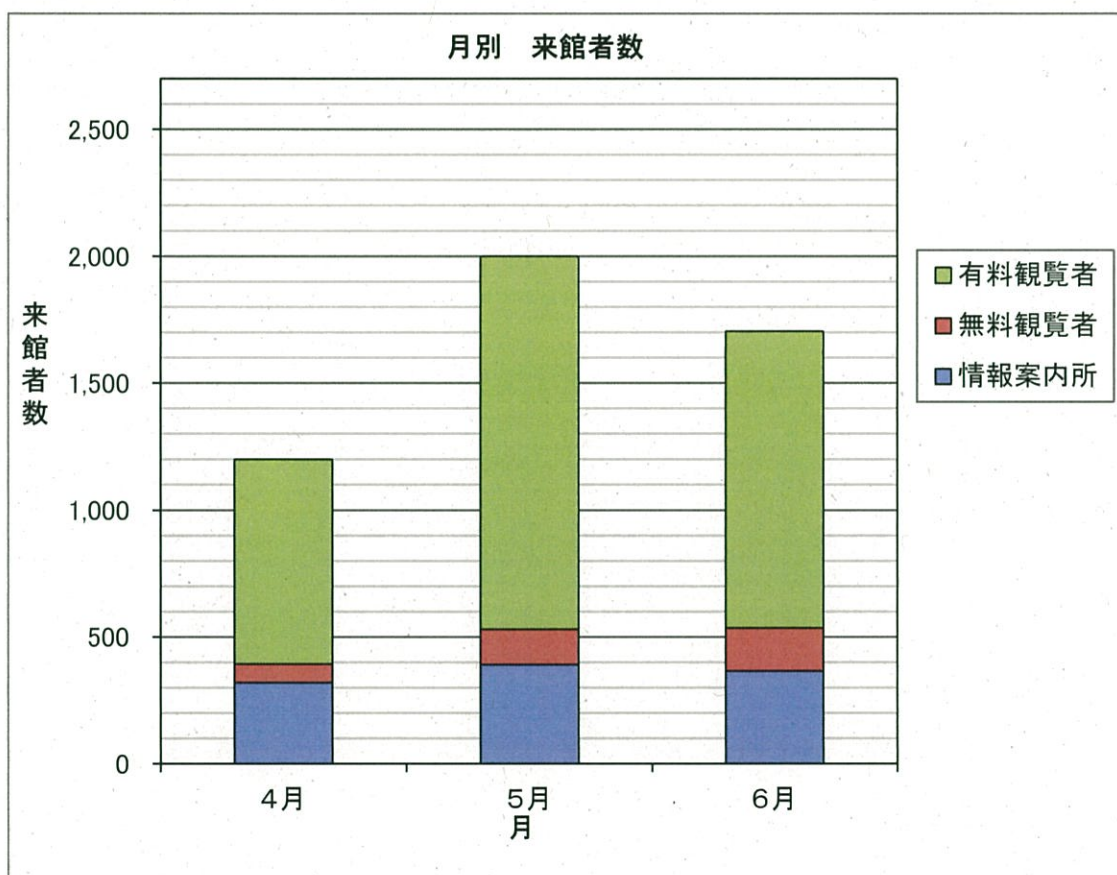
	予算額	前年度予算額	増減	備考
収入の部				
① 販売収益	68	3	65	
販売収益	68	3	65	
② 雑収益	133	170	△ 37	
物品販売委託手数料収入	133	170	△ 37	
その他収入	0	0	0	
当期収入計	201	173	28	
前期繰越収支差額	885	884	1	
収入計	1,086	1,057	29	
支出の部				
① 付帯事業費	201	173	28	
消耗品費	192	170	22	
使用料及び賃借料	6	0	6	
手数料	3	3	0	
当期支出計	201	173	28	
当期収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	885	884	1	

平成31年度来館者数内訳（旧小澤家住宅）

○月別来館者数

（令和元年6月30日現在）

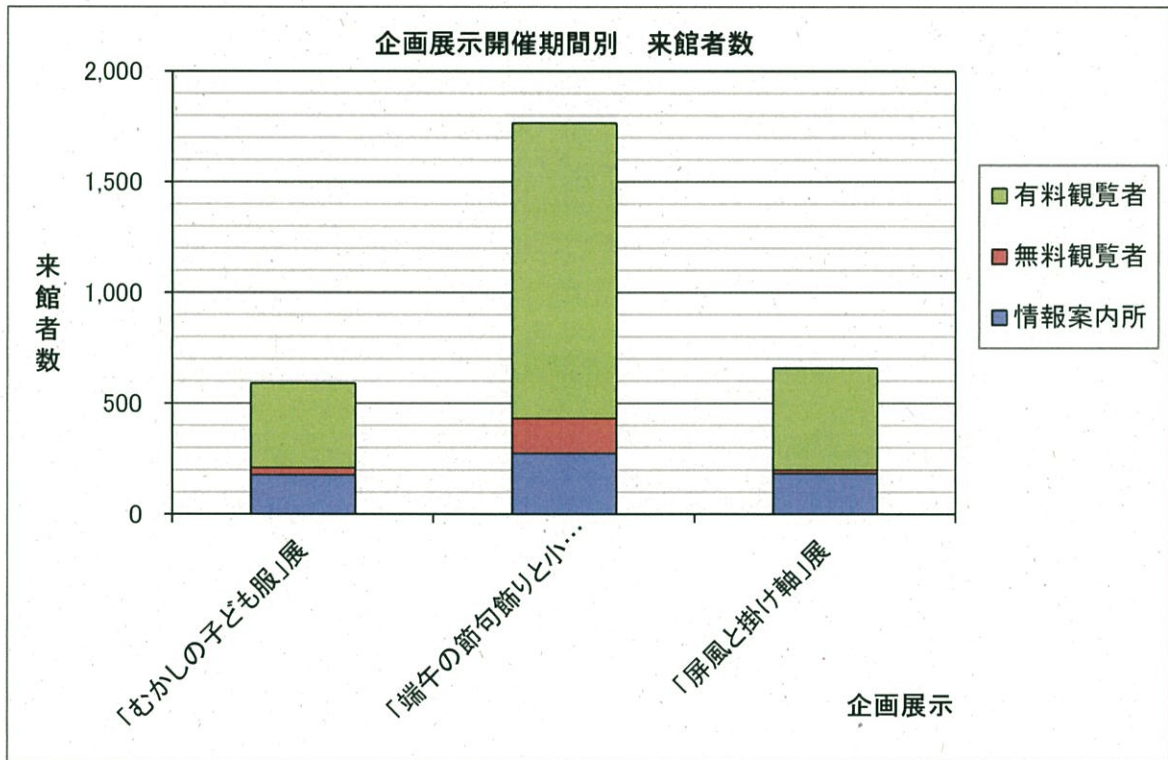
月	来館者数 合計	有料公開部（常設・企画展）							情報案内所 （無料）	開館 日数	1日平均 来館者数
		合計	有料観覧者			無料観覧者					
			合計	個人	団体	うち授業	うち小中 土日				
4月	1,200	880	806	326	480	74		3	320	26	46
5月	1,999	1,608	1,468	440	1,028	140	10	19	391	27	74
6月	1,704	1,338	1,168	506	662	170		79	366	26	66
合計	4,903	3,826	3,442	1,272	2,170	384	10	101	1,077	79	62



○企画展示開催期間別 来館者数

(令和元年6月30日現在)

企画展示	来館者数 合計	有料公開部（常設・企画展）							情報案内所 （無料）	開館 日数	1日平均 来館者数
		合計	有料観覧者			無料観覧者					
			合計	個人	団体	うち授業	うち小中 土日				
「むかしの子ども服」展 (H31.4.6～4.21)	591	414	381	181	200	33		2	177	14	42
「端午の節句飾りと小澤家ゆかりの品々」展 (H31.4.27～R1.5.19)	1,765	1,490	1,332	417	915	158	10	19	275	21	84
「屏風と掛け軸」展 (R1.6.1～6.16)	658	475	459	161	298	16		1	183	14	47
合計	3,014	2,379	2,172	759	1,413	207	10	22	635	49	62



■ 決算参考データ

1. 来館者数

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	累計
目標数	102,000	102,000	102,000	100,000	114,000	105,000	100,000	100,000	-
実績	112,332	123,322	92,191	113,657	100,447	93,652	87,930	112,079	835,610
達成率	110.1%	120.9%	90.4%	113.7%	88.1%	89.2%	87.9%	112.1%	-

2. ボランティアガイド活動状況

	解説回数	案内人数
H28	306	7,741
H29	208	6,454
H30	316	9,735

※上記ボランティア活動状況は、常設・敷地・体験ボランティアすべて合算した数値となっている。

3. 貸室利用件数

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	累計
件数	-	185	169	153	165	168	181	203	1,224
目的	-	92	83	94	96	104	112	130	711
目的外	-	93	86	59	69	64	69	73	513

※施設管理受託事業の公益目的事業と収益事業の配賦割合は、上記件数の比率（H30は目的：64.0、目的外：36.0）で算出される。

【決算参考データー】

1. 来館者数

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	累計
	15,950	13,237	14,608	18,005	16,552	15,795	15,396	17,576	127,119
目標達成率	82.7	91.3	112.5	103.5	98.7	96.2	109.9%		

※ 目標値/年間 16,000 人

※ 来館者数には、有料入館者（個人、団体）、無料入館者（授業等）、情報案内所来館者を含む。

2. ボランティアガイド活動状況

	活動人数（実数）	活動日数（延べ人数）	解説回数	案内人数
H28	17 人	121 日	153 回	1,243 人
H29	14 人	107 日	154 回	1,318 人
H30	16 人	106 日	160 回	1,871 人

※ ボランティアガイド登録人数 30 人 (H31.3 現在)

3. 貸室利用件数

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	累計
件数	10	27	25	38	32	30	60	59	281
目的	—	23	19	22	24	20	31	31	170
目的外	—	4	6	16	8	10	29	28	101

※ 利用件数には、非営利利用、営利・宣伝目的利用を含む。

※ 施設管理受託事業の公益目的事業と収益事業の配賦割合は、上記件数の比率（H30 は目的 52.5：外 47.5）で算出される。

【資料 7-追加】

3 自主事業 文化庁「地域と共働した博物館創造活動支援事業」…………… 2,796千円

当館のほか、市や地域の団体からなる「みなと新潟実行委員会」（会長：当館館長）を組織し、文化庁の支援事業に「新潟開港 150 年 新潟古町の記憶と魅力発信事業」を事業申請したところ採択されたことから、本事業について次の 3 つのイベントを実施する。

①みんなの古町プロジェクト

まちあるきやワークショップを通じて、思い出にある古町をはじめ、昭和の古町の歴史を掘り起こす。

〔対象〕 16 歳以上

〔開催日〕 8/3（土）、9/7（土）、9/28（土）、10/19（土）、11/9（土）、11/30（土）

○キックオフ講演会「古町の歩み～その誕生と発展、役割の移り変わり～」

〔講師〕 伊東祐之（当館館長）

〔開催日〕 7/15（月・祝）

②にいがた古町「いまむかしカルタをつくろう！」

古町地区について、まちあるきや調べ学習を通じてカルタを作る。

〔対象〕 小学 3 年生～6 年生

〔開催日〕 7/27（土）、8/8（木）、9/14（土）、10/26（土）

③復活！古町芸妓の白山詣で！！ 江戸時代の古町の賑わい再現

江戸時代、白山神社の祭礼の日に参詣に向かう芸妓たちが着飾って古町を練り歩いた。その情景を再現する。

〔開催日〕 3/20（金・祝） 予定

収支予算書(博物館 みなと新潟実行委員会)

平成31年4月1日から平成32年3月31日まで

平成31年度予算書

(単位 千円)

科 目	予算額	前年度予算額	差 異	備 考
収入の部				
① 事業収益	0	0	0	
文化事業収益	0	0	0	参加費等
② 受取補助金等	2,796	0	2,796	
国庫助成金収入	2,796	0	2,796	文化庁
③ 受取寄付金	0	0	0	
寄付金収入	0	0	0	
④ 雑収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
収入計	2,796	0	2,796	
支出の部				
① 文化事業費	2,796	0	2,796	博物館クラスター形成事業
通信運搬費	54	0	54	
消耗品費	32	0	32	
印刷製本費	786	0	786	
使用料及び賃借料	1,047	0	1,047	
保険料	2	0	2	
諸謝金	397	0	397	
委託費	476	0	476	
手数料	2	0	2	
支出計	2,796	0	2,796	
収支差額	0	0	0	